Victor "HIS MASTER'S VOICE"

取扱説明書

コンパクトコンポーネントシステム

型名 EX-A1

本機のスピーカーは、原音を忠実に再現するためにキャビネットと振動板に天然木を使用しています。
そのため、外観が一台ごとに異なります。

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に4〜6ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

はじめに
接続する
すぐ使ってみる
使いこなす
ラジオを聞く
便利な機能
ご参考に

LVT1095-001B

EX-A1について

世界初 * 木製振動板「ウッドコーン」

ヴァイオリンやギター、ピアノ等、美しい音色を奏でる楽器の多くは木を使用しています。中でも無垢の木材は音の自然な減衰特性が特長で心地よい響きを生みます。

振動板の特性を評価する指標には「伝搬速度（音を伝える速さ）」と「内部損失（音を吸収する度合い）」があり、音の解像度やメリハリを高めるには、この相反する特性の値がともに大きく、バランスのとれた素材が理想とされています。この理想に近い素材が楽器にも使われている木材なのです。

今から 20 年前、一人の技術者が木の振動板を試作しました。
扇形状の薄い木製シートを数枚貼り合わせてコーン（円錐）形状に造り上げた振動板は、聴いた多くの人々に感動を与えました。
オーディオ開発に携わる技術者の魂を揺り動かすほどの魅力的な音色でしたが天然素材ゆえの品質、生産上の課題が大きく、量産化は実現できませんでした。

しかし、音楽への深い愛情とともに満足ということを知らない技術者の執念が、奇跡にも近い発想の転換を経て 20 年後、ついに量産化を実現させたのです。

このウッドコーンの能力を十二分に発揮させる為、天然無垢のチェリー材をスピーカー・キャビネットに採用したほか、マグネットやボイスコイル、フレームはもちろん、センター部の音響パーツ一つ一つを厳選し、高品位な音質再生を目指しました。

さらに、物理的性能だけではなく、音楽ソフトの制作現場、アーティストの思いを理解しているレコーディングエンジニアと協力して音づくりを行ってまいりました。

日本ビクターが一貫して目指してきたことも、音楽を本来の美しい響きでお届けすること。
アナログからデジタルへ技術の方法論は変わってもこの考え方は不変です。

かつて技術者の夢であったテクノロジーと長年にわたり培ってきたクラフトマンシップ、これに最新デジタル技術を融合して誕生した EX-A1。
音楽を愛する全ての方に感動が魂を揺さぶるエモーショナルなサウンドをお届けします。

*2003.9 月現在

もくじ

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

● 絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意　感電

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止　水場での使用禁止　接触禁止

行為を指示する記号

一般的指示　電源プラグを抜く

⚠警告

電源プラグを抜く

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

- 煙が出ていたりへんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解禁止

分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

水場での使用禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。
特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

⚠警告

交流100V(ボルト)以外の電源電圧で使用しない。

火災の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use only in Japan and can not be used in any other country.

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10cm以上離す

置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

可動部の作動中には無理な操作を加えない。

一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
電源を切る前に接続したテレビやアンプなどの音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

手を挟まれないよう注意

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

⚠注意

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災･けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

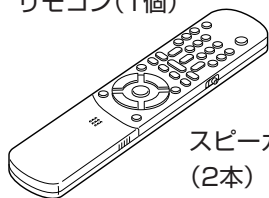
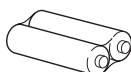
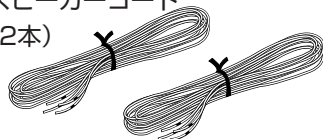
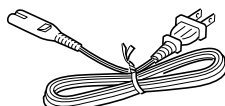
- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）を間違えない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。
万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

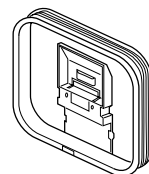
ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響をおよぼすことがあります。

付属品

次の付属品が同梱されています。お確かめください。

リモコン（1個）　単3形乾電池（2本）（リモコン動作確認用）　スピーカーコード（2本）

電源コード（1本）

ビデオコード（1本）

FMアンテナ（１本）

AMアンテナ（１個）

商標と著作権

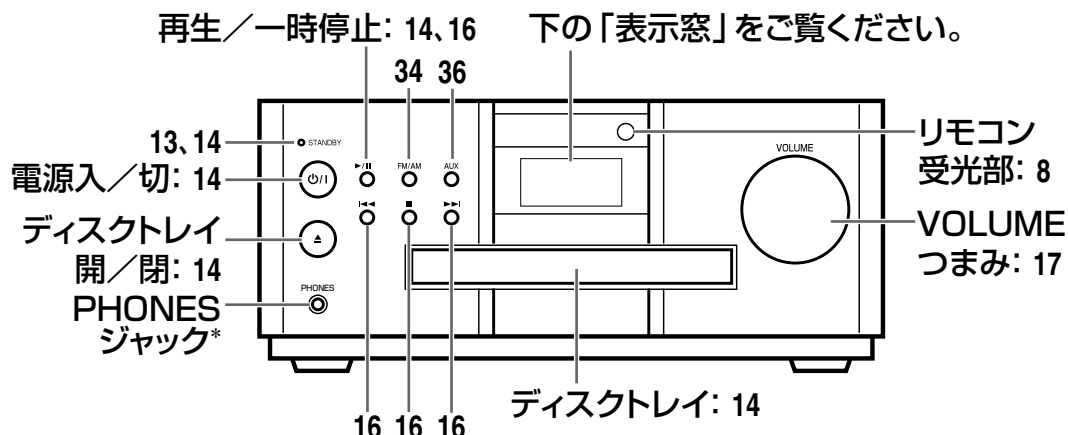
- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。 Dolby、ドルビー、MLP Lossless及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 本機はデジタル･シアター･システムズ社からの実施権に基づき製造されています。
  dts、DTSおよびDTS 2.0+DIGITAL OUTは、デジタル･シアター･システムズ社の商標です。
- 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解、リバースエンジニアリングは禁止されています。
- ディスクを著作権者に無断で複製したり放送、上映、演奏、レンタルすることは、法律により禁止されています。
- DVDビデオのロゴは商標です。

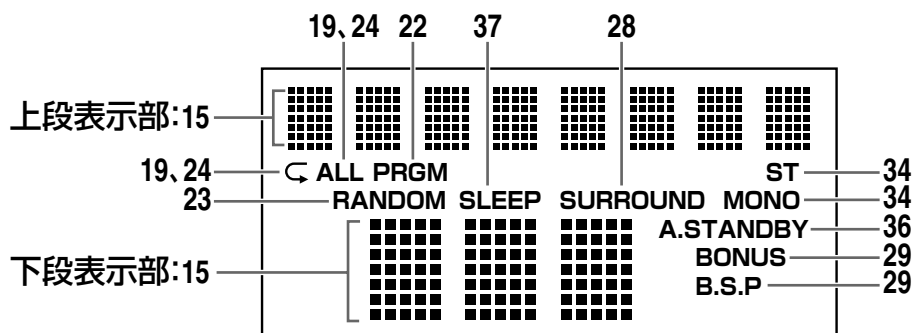
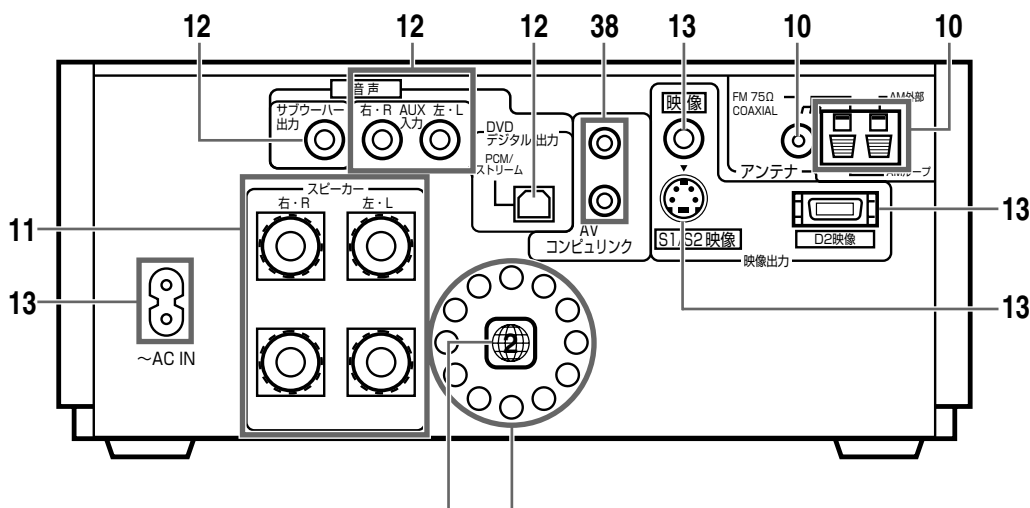
本書の見かた

- 主にリモコンのボタンを使って操作説明をしています。本体に同じマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
- どの種類のディスクで操作できるのかを、以下のマークでお知らせしています。

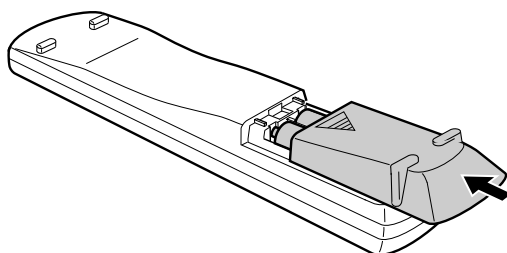
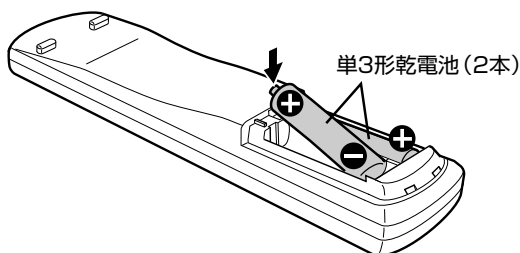
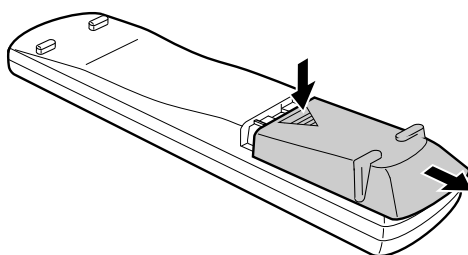
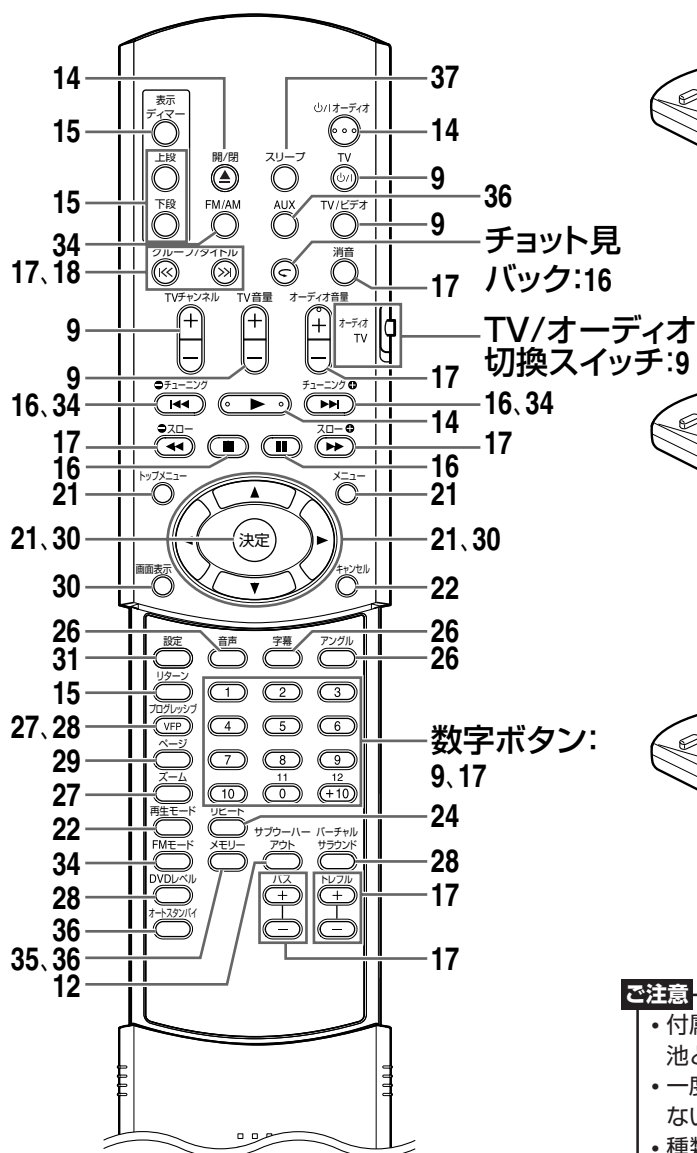
- 本書内のイラストやテレビ画面は、説明のため簡略化や誇張をしているものがあります。
- “SVCD”は“スーパービデオCD”の略です。

各部の説明ページ 数字は説明しているページ番号です。

本体前面

＊ ステレオミニプラグ付きのヘッドホン（市販品）を接続します。接続するとスピーカーとサブウーハーから音が出なくなります。

表示窓

本体背面

自動で回ったり止まったりします。
本機の内部で発生した熱を放出するので、この穴をふさがないでください。

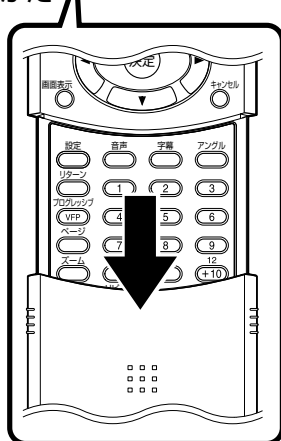
リモコンについて 数字は説明しているページ番号です。

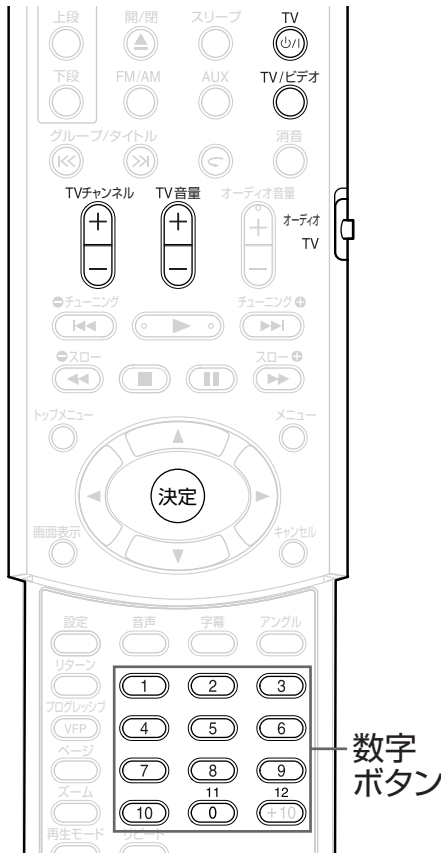
リモコンに電池を入れる

ご注意

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 一度使用した電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池と混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液漏れなどの原因となります。

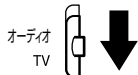
リモコンの操作

リモコンを使うときは、本体正面に向けて操作してください。極端に斜めから操作したり手前に障害物があると、信号が届かなくなります。
なお、リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっていると、操作できない場合があります。

・操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。
・リモコンを落としたり、強い衝撃をあたえないでください。

このページは、本機のリモコンでテレビも操作したい場合にお読みください。

リモコンでテレビを操作する

テレビのメーカー(メーカーコード)を設定する

1 TV/オーディオ切換スイッチをTV側にする

2 TV(⏻/I)を押し続ける

お知らせ

TV(⏻/I)は、手順**5**が終わるまで押したままにしてください。

3 (決定)を押して離す

4 数字ボタン(1～9、0)を押す

▢：お買い上げ時の設定

メーカー	コード
ビクター	01、02、03
アイワ	28、29
NEC	15
コルティナ	31、32、33、34
サンヨー	04、05、06
シャープ	07、08
ソニー	11、12、13
東芝	14
パイオニア	16
日立	17、18
フィリップス	30
富士通	08、09
フナイ	19、20、21、22
松下	23、24、25、26
三菱	27

例： 08：0→8
12：1→2
20：2→0　の順に押します。

2つ以上の番号(メーカーコード)があるメーカーの場合、順番に試してみて正しく動作する番号を選んでください。

5 TV(⏻/I)を離す

テレビを操作する

リモコンをテレビに向けて操作します。

ボタン		操作
TV(⏻/I)		電源を「入」/「切」する
TVチャンネル(＋/－)		チャンネルを変える
TV音量(＋/－)		音量を調節する
1 ～ 10 / 11 0 / 12 +10	オーディオ TV ↓ *1	チャンネル(1～12)を選ぶ
TV/ビデオ		テレビとビデオ入力を切り換える

*1 TV/オーディオ切換スイッチを、前もってTV側に切り換えておいてください。

お知らせ

リモコンの電池を交換したときは、メーカー設定をやり直してください。

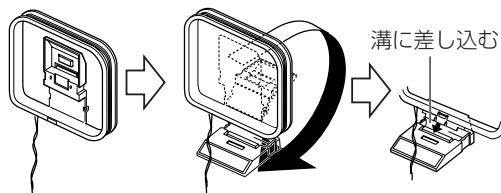
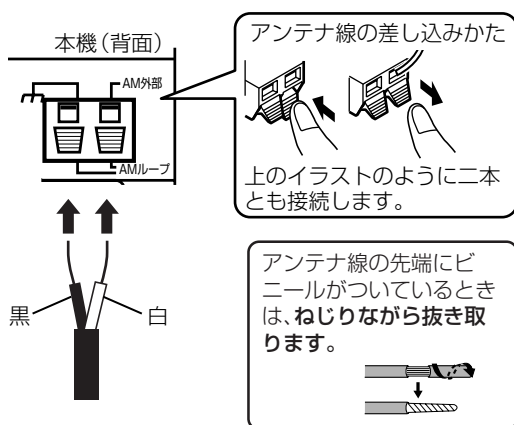
接　続 ー接続が終わるまで電源は入れないでください。ー

アンテナを接続する

AMアンテナ(付属品)を接続する

1 AMアンテナを組み立てます。

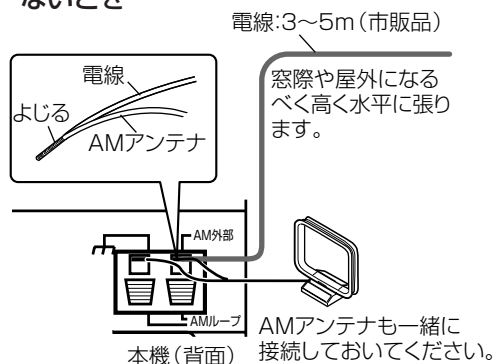
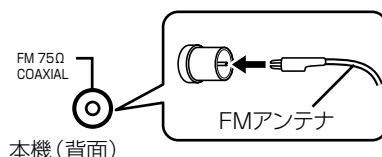
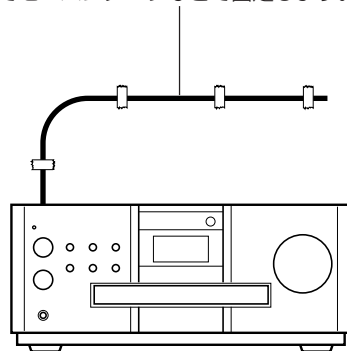
2 アンテナ線を接続します。

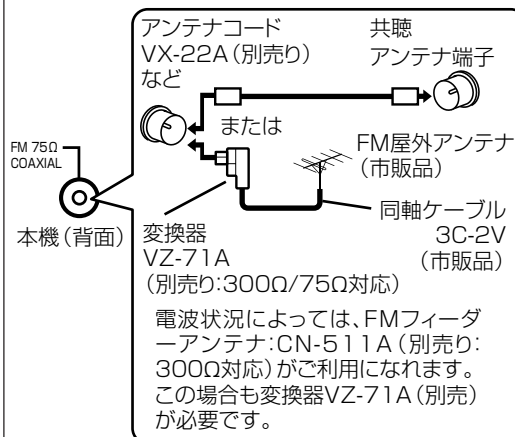
上のイラストのように二本とも接続します。

アンテナ線の先端にビニールがついているときは、**ねじりながら抜き取ります。**

3 接続したAMアンテナを左右に回して最も受信状態の良い方向に向けて置きます。
AMアンテナは、本体からできるだけ離して置いてください。

- AMアンテナは、金属製の机の上やテレビ、パソコンなどの近くに置かないでください。受信感度が悪くなります。

■付属のAMアンテナではうまく受信できないとき

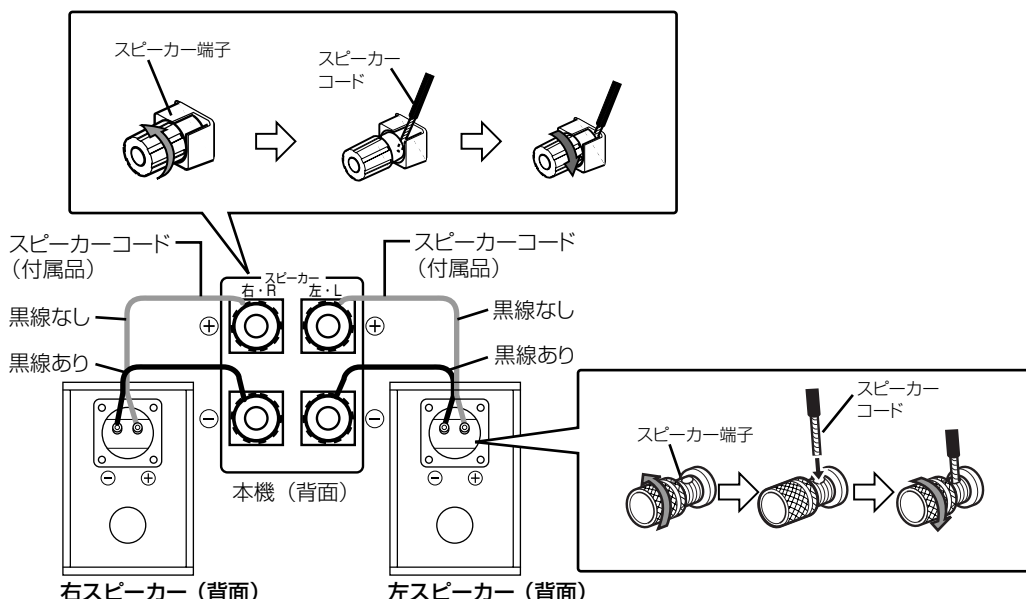
窓際や屋外になるべく高く水平に張ります。

AMアンテナも一緒に接続しておいてください。

FMアンテナ(付属品)を接続する

最も受信状態の良い位置と方向にまっすぐ伸ばしてセロハンテープなどで固定します。

■付属のアンテナでうまく受信できないときや、マンションなどの壁の共聴アンテナ端子を使うとき

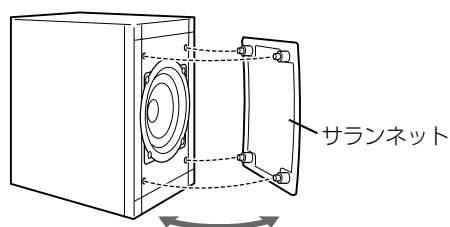
電波状況によっては、FMフィーダーアンテナ:CN-511A(別売り:300Ω対応)がご利用になれます。この場合も変換器VZ-71A(別売)が必要です。

付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよび変換器の取扱説明書を参照してください。

アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行なってください(「ラジオを聞く」☞34ページ)。

スピーカーを接続する

スピーカーには左右の区別はありません。

ご注意

- スピーカーコードの接続を間違えると、ステレオ感や音質がそこなわれます。
- スピーカー端子の⊕と⊖をショートさせないでください。故障の原因となります。
- 他のスピーカーとは、一緒に接続しないでください。負荷インピーダンスが変わり、故障の原因となります。
- 本機のスピーカーは防磁設計(JEITA仕様)になっておりますが、設置方法によってはテレビに色ムラを生ずることがあります。
  次の点にご注意ください。
  1. 必ずテレビの主電源スイッチを「切」にしてから設置してください。また、テレビの主電源スイッチは、切ってから30分程度待ってから「入」にしてください。
  2. テレビの種類によって万一、色ムラが生じたときはテレビとスピーカーを10 cm以上離してください。

サランネットは取り外すことができます。

お知らせ

- 本機に接続できるスピーカーのインピーダンスは、4Ω～16Ωです。
- 十分な冷却効果を得るために、両側にスピーカーを設置したり、物を置いたりするときは、1cm以上間隔をあけてください。

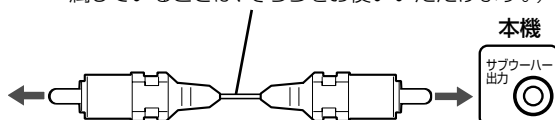
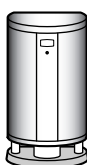
他の機器を接続する

このページは、本機に他の機器を接続して使う場合にお読みください。

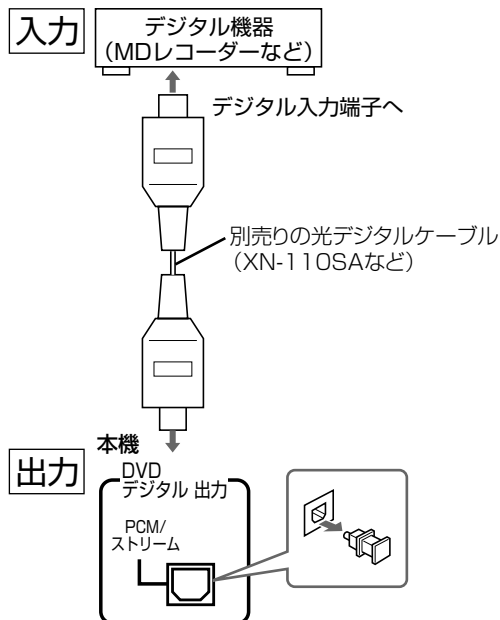
サブウーハーの接続

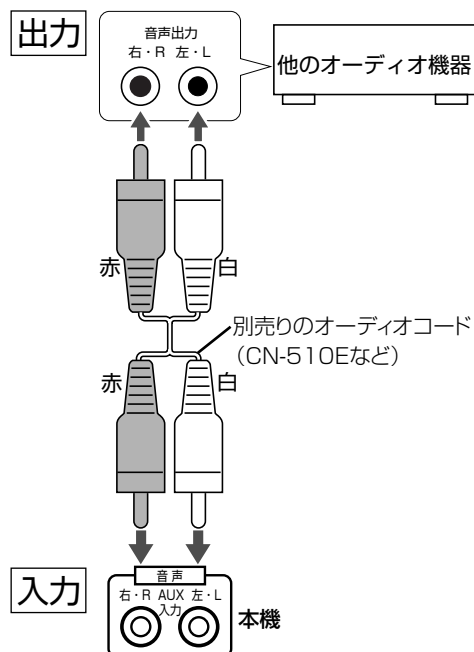
アンプ内蔵サブウーハー（別売り）を接続すると、より迫力のある重低音がお楽しみいただけます。
詳しくは、サブウーハーの取扱説明書をご覧ください。

アンプ内蔵サブウーハー
SX-DW303、SP-DW103
など(別売り)

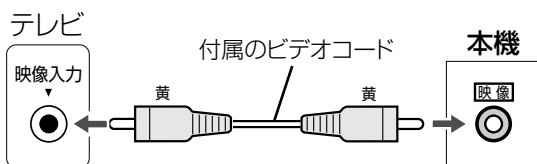
別売りのオーディオコード
（CN-D110Eなど。アンプ内蔵サブウーハーに付属しているときは、そちらをお使いいただけます。）

サブウーハーから音を出したいときは、リモコンの サブウーハーアウト を押して本体の表示窓に「SUB WFR ON」を表示させてください。押すごとにONとOFF（サブウーハーから音が出ない）が切り変わります。

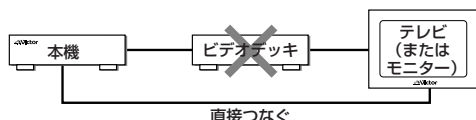
お知らせ

「SUB WFR ON」にすると、本機が自動で左右のスピーカーからの低音を少し小さくし、低音は主にサブウーハーで再生します。

他のオーディオ機器と接続する

デジタル機器と接続する

ご注意

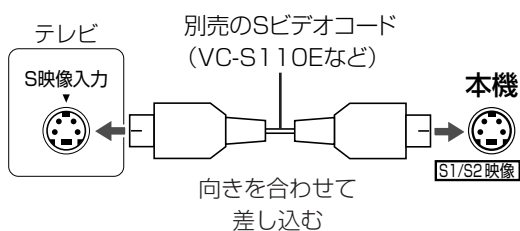
- 出力される信号の詳細については32ページをご覧ください。
- ドルビーデジタルデコーダーの機能を持った機器と接続した場合、本機のデジタル音声出力からの音声に対して、本機の「音声設定画面」（☞32ページ）の[Dレンジコントロール]の設定は無効となります。

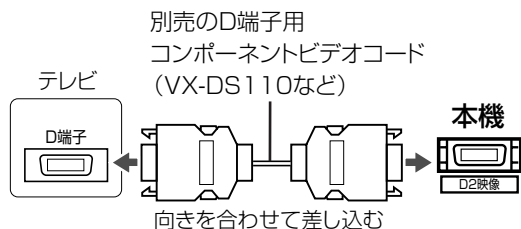
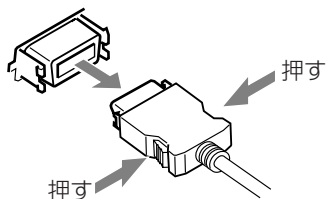
テレビを接続する

ご注意

- 本機とテレビ（またはモニター）は、ビデオデッキなどを経由せず、直接つないでください。再生中に画像が乱れることがあります。

また本機とビデオデッキ内蔵テレビ（テレビデオ）をつないだときも、再生中に画像が乱れることがあります。

よりきれいな映像を楽しみたいときは

付属のビデオコードのかわりに以下のコードを使うと、よりきれいな映像をお楽しみいただけます。

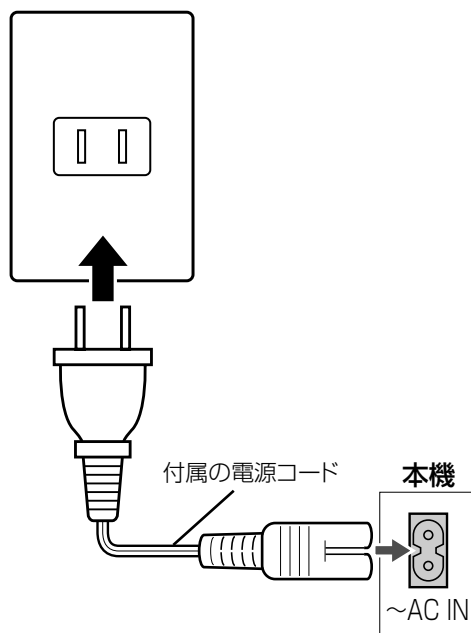
Sビデオコードで接続する

D端子用ビデオコードで接続する

Sビデオコードよりも、さらにきれいな映像をお楽しみいただけます。

■ **D端子コネクターの外しかた**

ご注意

Sビデオコード、D端子用ビデオコードはどちらかを使用してください。両方を使用すると、映像が正しく再生されないことがあります。

お知らせ

- 本機のD映像端子はD2信号まで対応します。
- 本機には、D1～D4映像入力を持つテレビを接続できます。
- プログレッシブモード（☞28ページ）で映像をお楽しみいただくためには、テレビがD2映像入力以上に対応している必要があります。

電源コードを接続する

- 電源コードは、すべての接続が終わってから差し込んでください。
- STANDBY（スタンバイ）ランプ（本体前面）が点灯します。

ディスクを再生する

再生する

DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD SVCD オーディオCD （MP3とJPEGの再生については18ページをご覧ください）

☞7ページ

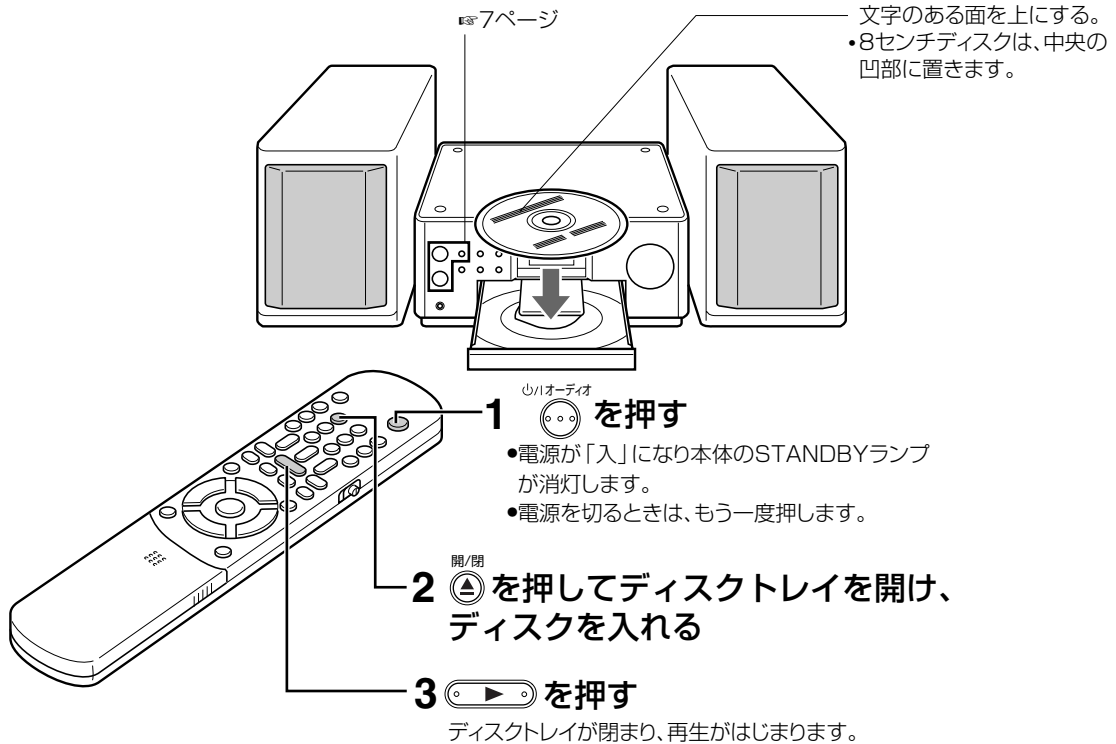
文字のある面を上にする。
•8センチディスクは、中央の凹部に置きます。

1 ⏻/Iオーディオ を押す

●電源が「入」になり本体のSTANDBYランプが消灯します。
●電源を切るときは、もう一度押します。

2 開/閉 を押してディスクトレイを開け、ディスクを入れる

3 ▶ を押す

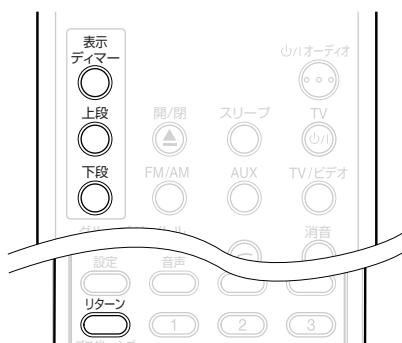
ディスクトレイが閉まり、再生がはじまります。

• 電源が「切」の状態で ►/II FM/AM AUX ⏏（本体）▶ FM/AM AUX 開/閉（リモコン）のいずれかを押したときも電源が入ります。
⏏ 開/閉 以外を押したときは、ソース（音源）も換わります（ディスクが入っていたときは、再生が始まります）。

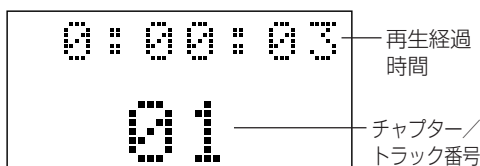
お知らせ

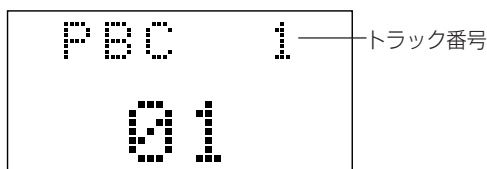
• DVDでは、再生開始後にメニュー画面が表示されることがあります。このようなときは、次のリモコンのボタンを使って、希望の項目を選んで再生します。
  • ▲ ▼ ◀ ▶ で項目を選び、決定 を押す
  • 数字ボタンで項目を選ぶ
• ディスクによっては、ここでの説明と異なる操作方法のものもあります。

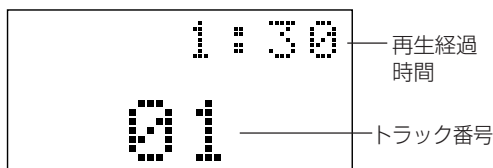
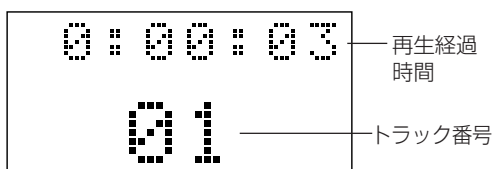
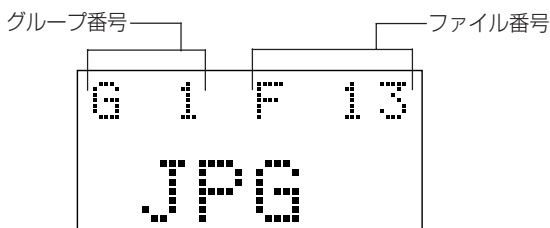
電源を入れたときテレビに表示される画面

状況に応じて以下のようなメッセージが表示されます。
（ソース（音源）がFM/AMまたはAUXのときは、表示されません。）

NOW READING	ディスク読み取り中です。しばらくお待ちください。
リージョンコードエラー!	リージョン番号が異なるため再生できません。（☞40ページ）
NO DISC	ディスクが入っていません。
OPEN	ディスクトレイを開いています。
CLOSE	ディスクトレイを閉じています。

ディスク再生中の表示窓について

表示例：DVDビデオ／DVDオーディオを再生したとき

DVDオーディオを再生中に「BONUS」や「B.S.P」が表示されたら☞29ページ

表示例：SVCD／ビデオCD（VCD）を再生したとき

- PBC（プレイバックコントロール）：ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC対応ビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、対話型のソフトや検索機能を持ったソフトなどが楽しめます。PBCをオフにして再生したいときは、次の操作を行なってください。
  - 停止中に見たいトラック番号を数字ボタンで指定する
  - 停止中に ⏮ または ⏭ でトラック番号を指定し、▶ を押す
- ビデオCDとSVCDをPBC再生中、1つ上の階層に戻るときは リターン を押します。

表示例：オーディオCDを再生したとき

表示例：MP3ディスクを再生したとき

表示例：JPEGディスクを再生したとき

表示を切り換える

上段 または 下段 を押します。押すごとに表示が切り換わります。

表示例

DVDビデオ
上段：→0:00:03（再生時間）→T1 C3（再生タイトル/チャプター）→表示なし→
下段：→03（再生チャプター）→T1（再生タイトル）→DVD→

DVDオーディオ
上段：→0:00:03（再生時間）→G1 T3（再生グループ/トラック）→表示なし→
下段：→03（再生トラック）→G1（再生グループ）→DVD→

ビデオCD/SVCD
上段：→0:03（再生時間）→表示なし→PBC 2（PBC時のみPBC表示と再生トラック）→
下段：→02（再生トラック）→VCD→

オーディオCD
上段：→0:03（再生時間）→表示なし→
下段：→02（再生トラック）→CD→

MP3ディスク
上段：→0:00:03（再生時間）→G1 T3（再生グループ/トラック）→表示なし→
下段：→G1（再生グループ）→MP3→03（再生トラック）→

JPEGディスク
上段：→G1 F3（再生グループ/ファイル）→表示なし→
下段：JPG

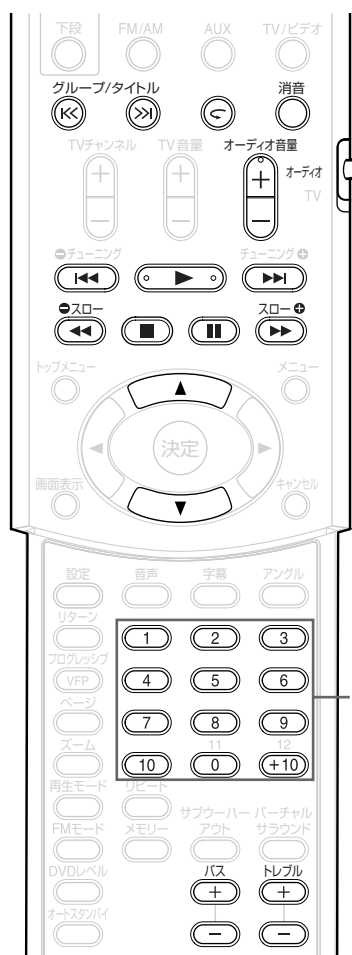
お知らせ

G：グループ
T：タイトル（DVDビデオ）
　トラック（DVDオーディオ、MP3）
C：チャプター
F：ファイル
の略です。

表示窓の明るさを変更する［DIMMER（ディマー）］

表示ディマー をくり返し押してください。

- 変更した明るさは電源を「切」にしても記憶されます。

すぐ使ってみる

数字ボタンで再生するところを選ぶ

DVDビデオ　DVDオーディオ　ビデオCD　SVCD　オーディオCD　MP3　JPEG

お知らせ

- 数字ボタンを使うときはTV/オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてください。
- ビデオCDとSVCD(スーパービデオCD)は停止中またはPBCオフで再生中に操作できます。
- DVDオーディオ、オーディオCD、MP3、JPEGは停止中も操作できます。
- ディスクによっては操作ができないこともあります。

再生中に数字ボタンを押して再生したいチャプター/トラック番号を指定する

「数字ボタンの使い方」(☞17ページ)をご覧ください。

停止する

DVDビデオ　DVDオーディオ　ビデオCD　SVCD　オーディオCD　MP3　JPEG

再生中に ■ を押す

一時停止する

DVDビデオ　DVDオーディオ　ビデオCD　SVCD　オーディオCD　MP3　JPEG

再生中に Ⅱ を押す

▶ を押すと、通常の再生に戻ります。

- JPEGディスクのスライドショー再生中は、Ⅱ を押すと一時停止します。▶ を押すと次のファイルから再生を開始します。
- JPEGディスクのスライドショー再生中は、本体の ▶/Ⅱ では一時停止しません。

画像を1コマずつ送る

DVDビデオ　SVCD　ビデオCD

一時停止中に Ⅱ を押す

押すごとに1コマずつ進みます。

早送り/早戻し

DVDビデオ　DVDオーディオ　ビデオCD　SVCD　オーディオCD

次の2つの方法があります。

- **再生中に ◀◀ または ▶▶ を押す**

  押すごとにスピードが速くなります。通常の再生に戻したいときは ▶ を押します。

- **◀◀ または ▶▶ を押し続ける**

  ボタンを押している間だけ、早送り／早戻しします。

お知らせ

- MP3とJPEGの早送り/早戻しはできません。
- DVDビデオや、SVCD、ビデオCDを早送り/早戻ししているとき、音声は出ません。
- オーディオCDやDVDオーディオを早送り/早戻ししているときは、断続的に音声が出ます。

約10秒前から再生し直す [チョット見バック]

DVDビデオ

再生中に ⟲ を押す

お知らせ

- ディスクによってはこの操作ができないこともあります。
- 一つ前のタイトルに戻ることはできません。

スローモーション再生する [スロー再生]

DVDビデオ　ビデオCD　SVCD

一時停止中に ⊖スロー ◀◀ または スロー⊕ ▶▶ を押す

- 押すごとにスピードが速くなります。
- Ⅱ を押すと一時停止、▶ を押すと通常の再生に戻ります。

お知らせ
- 音声は再生されません。
- 逆方向では動きがなめらかにならない場合があります。
- ビデオCDとSVCD(スーパービデオCD)では、順方向のみスロー再生できます。

頭出しする

DVDビデオ　DVDオーディオ　ビデオCD　SVCD　オーディオCD　MP3　JPEG

再生中*に ⏮ または ⏭ を押す

- 押すごとに前後のチャプター/トラック/ファイルの頭に移ります。
- 再生中のチャプター/トラックの先頭に戻るときは ⏮ を1回押します(JPEGを除く)。
- タイトルやグループを選ぶときは グループ/タイトル ⏮ ⏭ を押します。
- JPEGディスク再生中は、⏭ または ▼ を押すと次のファイルが、⏮ または ▲ を押すと一つ前のファイルが再生されます。

お知らせ
- ＊ビデオＣＤとSVCDは、PBCオフで再生中のときのみ操作できます。
- DVDビデオ以外は停止中も操作ができます。
- ディスクによっては操作ができないこともあります。

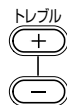
以下の項目は全てのソース(音源)で操作できます。

音量を調節する

を押す

お知らせ
本体のVOLUMEつまみを回しても調節できます。

音質を調節する

低音(BASS):
を押す

高音(TREBLE):
を押す

一時的に音を消す [消音(MUTING)]

消音 ◯ を押す

- スピーカー、ヘッドホン、サブウーハーからの音が出なくなります。
- もう一度 消音 ◯ を押すともとの音量に戻ります。電源を入れ直したときも、もとの音量に戻ります。

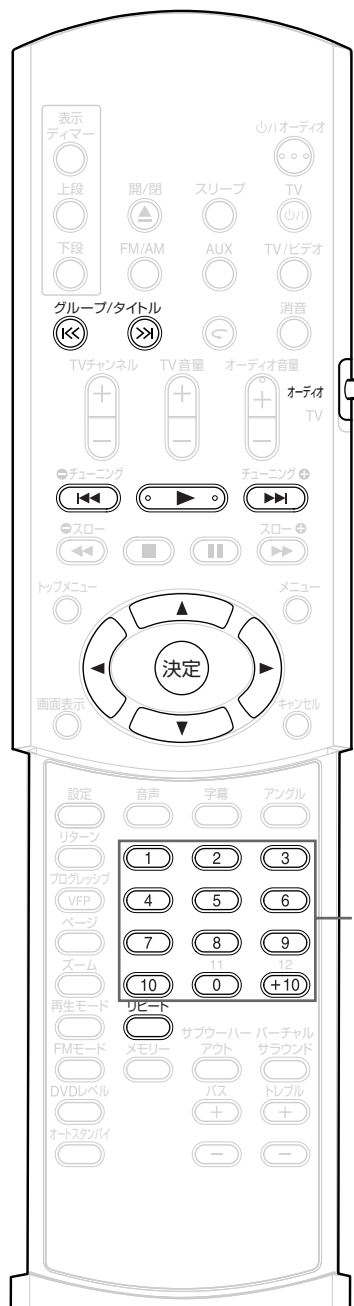
すぐ使ってみる

数字ボタンの使い方

例:
- 5: (5)
- 20: (+10)→(10)
- 15: (+10)→(5)
- 25: (+10)→(+10)→(5)

テレビ画面に表示されるマーク(オンスクリーンガイド)

- ▶ : 再生
- Ⅱ : 一時停止
- ◀◀ ▶▶ : 早戻し/早送り
- ◀Ⅰ Ⅰ▶ : スロー再生(逆方向/順方向)
- : 複数のアングルあり(☞ 26ページ)
- : 複数の音声あり(☞ 26ページ)
- : 複数の字幕あり(☞ 26ページ)
- ⊘ : そのディスクでは、行なった操作が禁止されています。

MP3ディスク・JPEG（ジェイペグ）ディスクを再生する

お知らせ
数字ボタンを使うときはTV/オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてください。

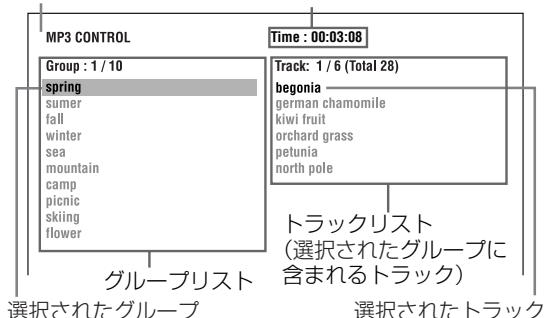
再生する

MP3 JPEG

ここではMP3ディスクの表示を例に説明します。JPEGディスクのときは、「トラック(Track)」を「ファイル(File)」に読みかえてください。

お知らせ
MP3とJPEGの両方が記録されているディスクのときは、どちらを再生するか設定してください(☞31ページ)。

1 ディスクを入れる

2 ▲ ▼ を押してグループ（　　部）を選ぶ

3 ▶ を押して、トラックリスト側に移動する

◀ を押すとグループリストに戻れます。

4 ▲ ▼ を押してトラック（　　部）を選ぶ

5 ▶ または 決定 を押す

お知らせ
- 手順**2**では グループ/タイトル ⏮ ⏭ も使えます。
- 手順**4**では数字ボタンも使えます。そのときは手順**3**と**5**は不要です。(数字ボタンの使い方は17ページをご覧ください。)
- 手順**4**では ⏮ ⏭ も使えます。そのときは手順**3**は不要です。

スライドショー再生について JPEG

- JPEGディスクでは手順**5**で ▶ を押すとそのファイルから連続して再生し(スライドショー再生)、決定 を押すと選んだファイルのみ再生します。
- スライドショー再生での1ファイルの表示時間は約3秒です。
- ファイルの再生が一巡すると自動で停止します。

リピート(くり返し)再生する

MP3 JPEG

1 停止中に リピート を押す

押すごとにリピートの種類が切り換わります。

リピートの種類	テレビ画面の表示	本体表示窓の表示
現在のトラックをリピート(MP3のみ)	REPEAT TRACK	↻
現在のグループをリピート	REPEAT GROUP	↻ ALL ※
ディスク全体をリピート	REPEAT ALL	↻ ALL
リピートを解除	表示なし	表示なし
プログラムまたはランダム再生中、現在のトラックをリピート(MP3のみ)	REPEAT STEP	↻
プログラムした全てのトラックまたはランダム再生状態の全トラックをリピート(MP3のみ)	REPEAT ALL	↻ ALL

※ は点滅の意味です。

2 ▶ を押す

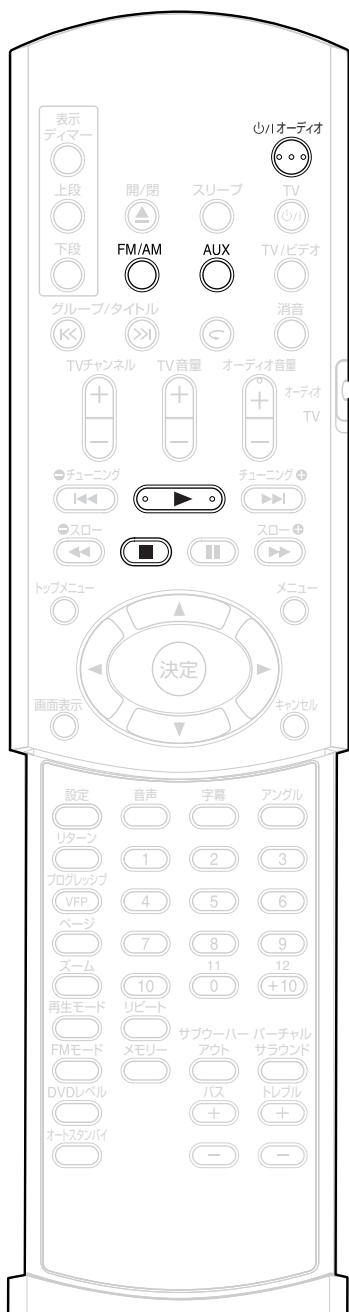
お知らせ

- 再生中もリピートの種類を切り換えることができます。
- 再生できないファイルがあるときはリピートモードは自動で解除されます(☞41ページ)。

使いこなす

あとで続きを再生する[RESUME（リジューム）]

DVD ビデオ　DVD オーディオ　ビデオ CD　SVCD

再生を途中で停止したとき、その場面から再び再生することができます。
これを「リジューム」機能と呼びます。

中断したいとき

再生中に、いずれかを行う。

[■] を1回押す。*
⏻/I オーディオ を押して電源を「切」にする。
ラジオ（FM/AM）またはAUXに切り換える。*

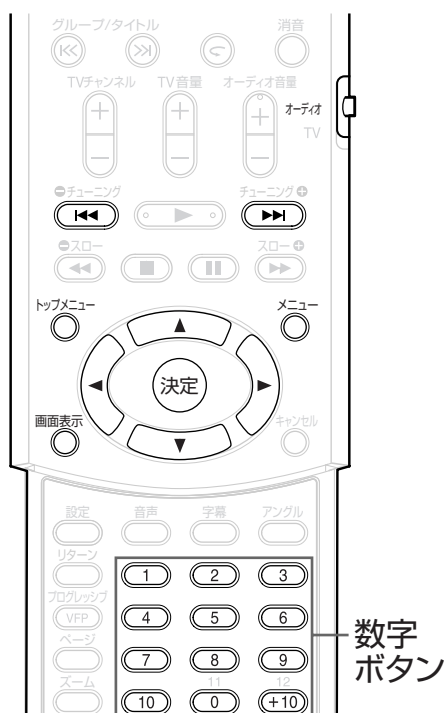
* このあと ⏻/I オーディオ を押して電源を「切」にしても位置の記憶は残ります。

つづきを再生したいとき

[▶] を押す。

お知らせ

- プログラム再生やランダム再生では機能しません。
- 再生を再開する位置が、停止した位置と少し異なることがあります。
- ディスクのメニューが表示されているときは、リジューム機能が働かないことがあります。
- 停止位置とともに、そのときの音声言語、字幕言語、アングルも記憶されます。
- 記憶した位置は、ディスクトレイを開けると取り消されます。また、再生中に [■] を押すと「RESUME」と表示されます。このときに [■] を押すと「RESUME OFF」と表示されて、記憶が取り消されます。
- **お買い上げ時はリジュームが「オン（リジュームする）」に設定されています。「オフ（リジュームしない）」に設定することもできます（☞32ページ）**

再生するところを選ぶ

お知らせ
数字ボタンを使うときはTV/オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてください。

メニューから選ぶ

DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD SVCD

1 停止中または再生中*1に メニュー または トップメニュー を押す

ディスクのメニュー画面が表示されます。

2 ▲ ▼ ◀ ▶ (DVDビデオ、DVDオーディオのみ)、または数字ボタンを押して再生するところを選ぶ

- 「数字ボタンの使い方」(☞17ページ)をご覧ください。
- メニュー画面に複数のページが用意されているときは、⏮ または ⏭ を押してページを切り換えます(ビデオCD、SVCDのみ)。

3 決定 を押す

お知らせ
*1 ビデオCDとSVCDはPBC OFFのときのみ
- メニュー画面が収録されていないディスクでは操作できません。
- ディスクによっては 決定 を押さなくても再生が始まります。

時間を指定する[タイムサーチ]

DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD オーディオCD

1 再生中に*2 画面表示 を2回押す

メニューバー(☞ 30ページ)が表示されます。

2 ◀ ▶ を押して ⌚➡ を選ぶ

3 決定 を押す

4 数字ボタン(1〜9、0)を押して時間*3を入力する

- DVDビデオとDVDオーディオでは「時・分・秒」、オーディオCDやビデオCDでは「分・秒」を入力します。なお「分・秒」は省略できます。
  例: DVDビデオ (0時間)23分45秒から再生したいとき
  0 → 2 → 3 → 4 → 5
  の順に押す。
- 間違えたときは ◀ を押して数字を消去し、入力し直します。

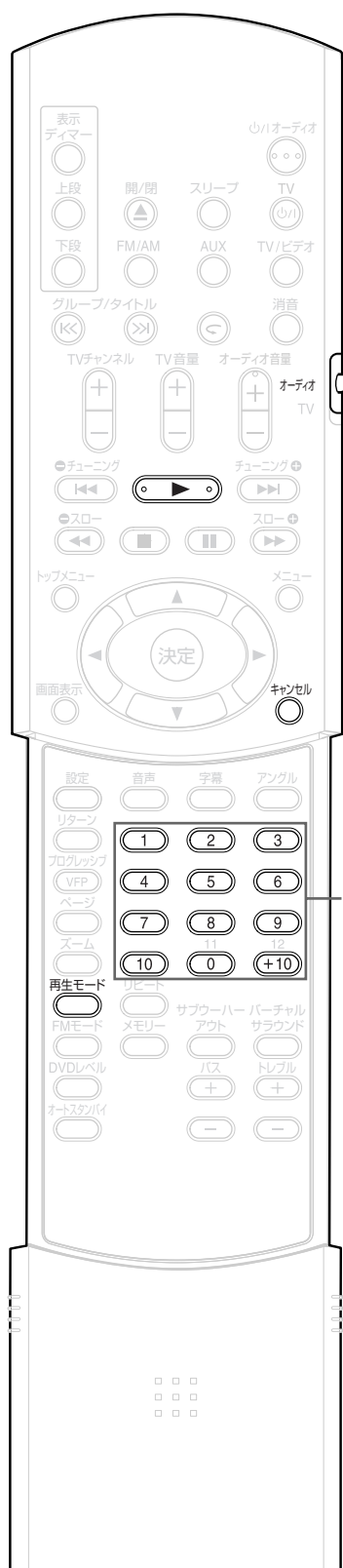
5 決定 を押す

メニューバーを消すときは 画面表示 を押します。

お知らせ
- 時間情報が記録されていないDVDビデオでは、この機能は働きません。
- プログラム・ランダム再生中はこの機能は働きません。

*2 ビデオCDは停止中またはPBCオフで再生中、オーディオCDはいつでも操作できます。
*3 DVDビデオはタイトルの先頭から、DVDオーディオは再生中のトラックの先頭から、ビデオCDとオーディオCDでのタイムサーチは、次のようになります。
- 停止中はディスクの先頭からの時間でのタイムサーチ
- 再生中は、現在のトラック内でのタイムサーチ

プログラム再生／ランダム再生

DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD SVCD オーディオCD MP3

お知らせ
数字ボタンを使うときはTV/オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてください。

お好みの順番で再生する[プログラム再生]

最大99のチャプター/トラックをプログラムできます。同じチャプター/トラックを何度もプログラムできます。

1 停止中に 再生モード をくり返し押し、本体の表示窓に「PRGM」を点灯させる。

PRGMはPROGRAM(プログラム)の略です。

例 DVDビデオのとき

2 テレビ画面の説明にしたがってプログラムする

10キー(数字ボタン)の使い方は「数字ボタンの使い方」(☞17ページ)をご覧ください。

- DVDオーディオのボーナスグループを選ぶときは、あらかじめ29ページ「ボーナスグループを再生する」の操作をして、「BONUS」表示を消してください。
- チャプター／トラックの入力数が99を超えると、「FULL」が表示されます。
- オーディオCD、SVCD、ビデオCDの場合は、再生時間の合計が99分59秒以上になると、表示窓に「−−:−−」と表示されます(プログラムはできます)。

本体の表示窓を見ながらプログラムするときは次のように操作します。

(1) 数字ボタンでタイトル/グループを選ぶ
上段表示窓の表示例：T2　C−−

(2) 数字ボタンでチャプター/トラック番号を指定する
上段表示窓の表示例：T2　C 3
- 「数字ボタンの使い方」(☞17ページ)をご覧ください。
- 下段表示窓にはプログラムの番号が表示されます。(例：P2)

(3) 1〜2をくり返し、プログラムを完了させる
プログラムが完了したら、手順**3**に進みます。

3 ▶ を押す

- 通常の再生に戻したいときは、停止中に 再生モード をくり返し押し、本体の表示窓に「NORMAL」を表示させます。プログラムの内容は残ります。
- 次の操作をすると、プログラムの内容が消去されます。
  - プログラム設定画面が表示された状態で、表示窓に「CLEAR!」が表示されるまで キャンセル を押しつづける（押してすぐ離すと、プログラムが1つずつ消去されます）
  - ディスクトレイを開ける
  - 電源を「切」にする

無作為な順番で再生する[ランダム再生]

1 停止中に 再生モード をくり返し押し、本体の表示窓に「RANDOM（ランダム）」を表示させる。

テレビ画面には ランダム または「RANDOM」と表示されます。

2 ▶ を押す

- 同じチャプター／トラックが2度再生されることはありません。
- 通常の再生に戻したいときは、停止中に 再生モード をくり返し押し、本体の表示窓に「NORMAL」を表示させます。
- 次の操作をしても、ランダム再生は解除されます。
  - ディスクトレイを開ける
  - 電源を「切」にする
- ランダム再生中に ⏮ をくり返し押しても、前の曲には戻れません（現在のチャプター/トラックの頭に戻ります）。

使いこなす

リピート再生

MP3とJPEGのリピート再生については19ページをご覧ください。

タイトル/チャプター/グループ/トラック/全トラックをくり返し再生する[リピート]

DVDビデオ　DVDオーディオ　ビデオCD　SVCD　オーディオCD

1 再生中に リピート を押す

押すごとにリピートの種類が切り換わります。

例：

テレビ画面　本体の表示窓

CHAP

DVDビデオのとき

リピートの種類	テレビ画面の表示	本体表示窓の表示
現在のチャプターをリピート	CHAP.(チャプター)	↻
現在のタイトルをリピート	TITLE(タイトル)	↻ ALL※
リピートを解除	OFF(オフ)	表示なし

DVDオーディオのとき

リピートの種類	テレビ画面の表示	本体表示窓の表示
現在のトラックをリピート	TRACK(トラック)	↻
現在のグループをリピート	GROUP(グループ)	↻ ALL※
リピートを解除	OFF(オフ)	表示なし

※ は点滅の意味です。

オーディオCD/ビデオCD/SVCDのとき

リピートの種類	テレビ画面の表示	本体表示窓の表示
現在のトラックをリピート	TRACK(トラック)	↻
全トラックをリピート	ALL(オール)	↻ ALL
リピートを解除	OFF(オフ)	表示なし

お知らせ

- ビデオCDとSVCDは停止中またはPBCオフで再生中、DVDオーディオとオーディオCDはいつでも操作できます。
- メニューバーでリピートを設定することもできます。操作方法は「指定した範囲をくり返し再生する[A-Bリピート]」(☞25ページ)をご覧ください。
- 本体の表示窓に表される略語の意味は以下のとおりです。
  - TRK：トラック
  - CHP：チャプター
  - TI.：タイトル
  - GR.：グループ
- DVDビデオとDVDオーディオは、ラジオ(FM/AM)またはAUXに切り換えるとリピートは解除されます。

プログラム再生/ランダム再生中のリピート

リピートの種類	テレビ画面の表示	本体表示窓の表示
現在のチャプター／トラックをリピート	STEP(ステップ) または REPEAT STEP	↻
プログラムした全てのトラックまたはランダム再生状態の全トラックをリピート	ALL(オール) または REPEAT ALL	↻ ALL
リピートを解除	OFF(オフ) または表示なし	表示なし

指定した範囲をくり返し再生する[A-Bリピート]

DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD オーディオCD

1 再生中に 画面表示 を2回押す

メニューバー(☞ 30ページ)が表示されます。

2 ◀▶を押して OFF を選ぶ

3 決定 を押す

4 ▲ ▼ を押して A-B を表示させる

ここで他のリピートモードを選ぶこともできます。他のリピートモードについては、「タイトル/チャプター/グループ/トラック/全トラックをくり返し再生する[リピート]」(☞24ページ)をご覧ください。

5 くり返す範囲の始点で 決定 を押す
(Aポイントの指定)

- メニューバーのアイコンが A- になります。

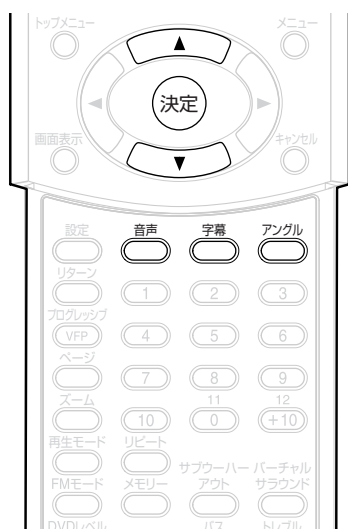
6 くり返す範囲の終点で 決定 を押す
(Bポイントの指定)

- メニューバーのアイコンが A-B になり、本体の表示窓に が点滅表示され、A-Bポイント間がリピート再生されます。
- 次の操作をすると、A-Bリピートは解除されます。
  - ■ を押す
  - A-B を選んで 決定 を2回押す

お知らせ

タイトルやトラックにまたがるA-Bリピートはできません。また、PBC再生中、プログラム再生中、ランダム再生中、リピート再生中は、A-Bリピートができません。

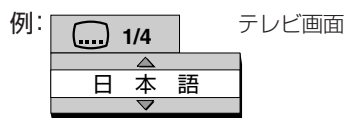
使いこなす

その他の便利な機能

字幕を切り換える

DVDビデオ SVCD DVDオーディオ
（動画部のみ）

1 複数の言語が入ったディスクを再生中に、［字幕］を押す

例：

テレビ画面

- ［字幕］を押すごとに、字幕のオン／オフを切り換えることができます。

2 ［▲］［▼］を押して字幕の言語を選ぶ

- "AA"などの言語コードについては、「言語コード一覧」（☞ 43ページ）をご覧ください。
- ディスクによっては字幕言語の表示方法が異なるものもあります。

3 そのまま数秒待つか、［決定］を押す

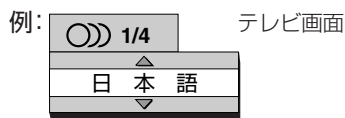
お知らせ
- メニューバー（☞ 30ページ）で操作することもできます。
- SVCDの場合、手順**1**で［字幕］を押すごとに字幕の種類、オン／オフが切り換わります。

音声を切り換える

DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD SVCD

1 複数の音声が入ったディスクを再生中に、［音声］を押す

例：

テレビ画面

- ［音声］を押すごとに音声の種類が切り換わります。［▲］［▼］を押しても切り換わります。
- "AA"などの言語コードについては、「言語コード一覧」（☞ 43ページ）をご覧ください。
- ビデオCDまたはSVCDのときに表示される「ST」「L」「R」はそれぞれ「ステレオ」「左の音声」「右の音声」の意味です。

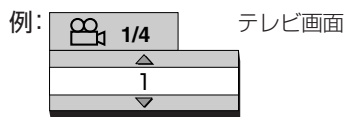
2 そのまま数秒待つか、［決定］を押す

お知らせ
メニューバー（☞ 30ページ）で操作することもできます。

アングル（角度）を切り換える

DVDビデオ DVDオーディオ
（動画部のみ）

1 複数のアングルが入った場面を再生中に、［アングル］を押す

例：

テレビ画面

- ［アングル］を押すごとにアングルが切り換わります。［▲］［▼］を押しても切り換わります。

2 そのまま数秒待つか、［決定］を押す

お知らせ
- メニューバー（☞30ページ）で操作することもできます。

画像を拡大する[ズーム]

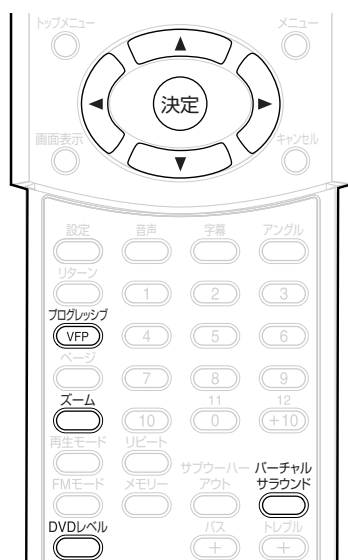
DVDビデオ　ビデオCD　SVCD　DVDオーディオ
（動画部のみ）

1 再生中、または一時停止中に ズーム を押す

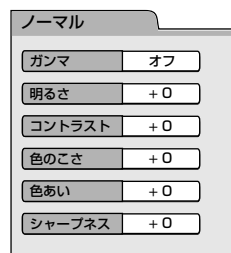
• 押すごとに倍率が変わります。(ビデオCDとSVCDは1.5倍のみ)

2 ▲ ▼ ◀ ▶ を押して、見たい部分を選ぶ

• 倍率が「×1」のときは操作できません。
• 通常の表示に戻したいときは、手順**1**で「×1」を選びます。

画質を調節する[VFP]

DVDビデオ　DVDオーディオ　ビデオCD　SVCD　JPEG

1 再生中、または一時停止中に VFP を押す

本体の表示窓に「VFP SET」と表示され、テレビ画面には現在の設定が表示されます。

• ガンマ：暗い部分と明るい部分の明るさを変えずに、中間の明るさを調節できます。
• シャープネス：お好み輪郭に調節できます。

2 ◀ ▶ を押してVFPモードを選ぶ

• 通常の状態では「ノーマル」、照明を落とした部屋では「シネマ」がお勧めです。「ノーマル」と「シネマ」を選んだときは、手順**7**へ進んでください。
• 「ユーザー1」と「ユーザー2」を選ぶと手順**3**以降の操作で細かい調節ができます。

3 ▲ ▼ を押して、調節したい項目を選ぶ

4 決定 を押す

テレビ画面

例：ガンマ　オフ

5 ▲ ▼ を押して数値を変更する

6 決定 を押す

他の項目も調節したいときは、手順**3**に戻ります。

7 VFP を押す

お知らせ

• 操作の途中で数秒間何も操作をしないと、それまでの変更が自動で設定されます。
• VFPはVideo Fine Processorの略です。

使いこなす

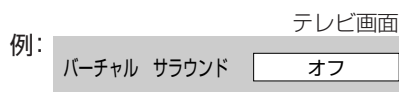
サラウンド感を出す[バーチャルサラウンド]

DVD ビデオ　DVD オーディオ

お知らせ

バーチャルサラウンドは、マルチチャンネルで収録された音声のみ設定できます（AC3、LPCM、PPCM、DTS）。PCMステレオ、ドルビーサラウンドなど、2chの音声には設定できません。

1 再生中に バーチャルサラウンド を押す

例：　テレビ画面

バーチャル　サラウンド	オフ

- 押すごとにオン/オフが切り換わります。
- 「オン」のときは、表示窓に「SURROUND（サラウンド）」と表示されます。
- オン/オフの切り換え時に音声がとぎれます。

お知らせ

- スピーカー/ヘッドホンともに効果があります。
- 表示窓に表示される「V．SUR．」は「Virtual（バーチャル） Surround（サラウンド）」の略です。

再生レベルを調節する [DVDレベル]

DVD ビデオ　DVD オーディオ

DVDビデオ/DVDオーディオの音声は、他の種類のディスクよりも低いレベル（音量）で収録されている場合があります。この差が気になるときはDVDレベルを調節してください。

1 再生中に DVDレベル を押す

- 押すごとに「NOR」(Normal)/「MID」(Middle)/「HIG」(High)と切り換わります。
- 再生される音を聞きながら、お好みのレベルを選んでください。

お知らせ

- 設定したDVDレベルは、DVDの再生時のみ有効です。
- DVDレベルを変えてもデジタル音声出力端子からの出力レベルは変わりません。
- 停止中、一時停止中も操作できます。

よりきれいな映像を楽しむ[プログレッシブ]

本機をプログレッシブモードにすると、よりきれいな映像をお楽しみいただけます。

ご注意

プログレッシブモードで映像をお楽しみいただくためには、次のことが必要です。
- 本機と接続するテレビに、D入力端子（D1を除く）がある
- 本機とテレビをD端子用ビデオコードで接続している（☞13ページ）

上記以外のときは、インターレースモードのままにしておいてください。プログレッシブモードにすると映像が乱れることがあります。

お知らせ

プログレッシブモードとインターレースモードについて

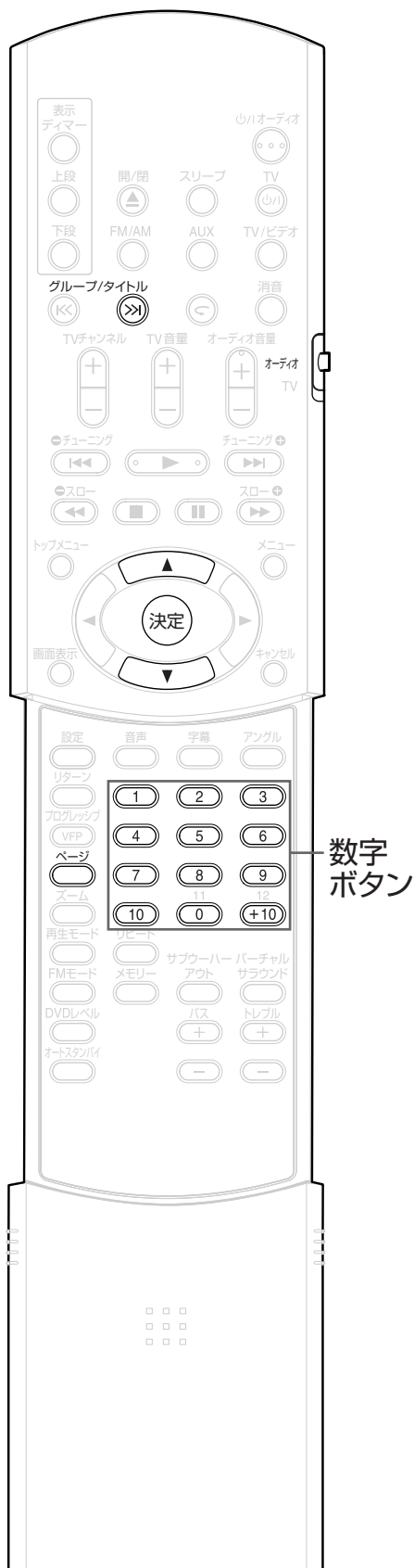
プログレッシブモード：
　一度にすべての走査線を表示します。インターレースモードよりも高精細な映像を再現します。

インターレースモード：
　従来の映像方式。プログレッシブモードの半分の走査線を交互に表示します。

ディスクを再生中、または停止中、またはディスクが入っていないとき（「NO DISC」表示中）に プログレッシブ（VFP） を押しつづけて表示窓に「PROGRESS」(PROGRE SSIVE)を表示させる

- 押しつづけるごとにプログレッシブモードとインターレースモードが切り換わります。
- 表示窓は、プログレッシブモードのとき「**PROGRESS**」、インターレースモードのとき「**INTER.**」と表示されます。

DVDオーディオ特有の機能

DVD オーディオ

お知らせ
数字ボタンを使うときはTV/オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてください。

ボーナスグループを再生する

DVDオーディオには、ボーナスグループと呼ばれる特別なグループを収録したものがあります。

お知らせ
本体の表示窓に、「BONUS」が点灯しているときに操作できます。

1 再生中に ⏭ をくり返し押してボーナスグループを選ぶ

テレビ画面と本体の表示窓に「**KEY**＿＿＿＿」が表示されます。

2 数字ボタンを押して暗証番号(4ケタ)を入力する

暗証番号を知る方法は、ディスクによって異なります。

3 (決定) を押す

- 正しい暗証番号を入力すると、「BONUS」表示が消え、ボーナスグループの再生が始まります。
- 暗証番号を間違えたときは、もう一度、正しい暗証番号を入力します。

静止画を見る[B.S.P.]

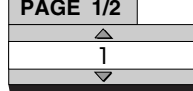
DVDオーディオには、静止画が収録されているものがあります。この静止画の中にはB.S.P.(ブラウザブル スチル ピクチャー)と呼ばれるものがあり、お好みでページをめくるように、静止画を切り換えることができます。

お知らせ
本体の表示窓に、「B.S.P」が点灯しているときに操作できます。

1 再生中に (ページ) を押す

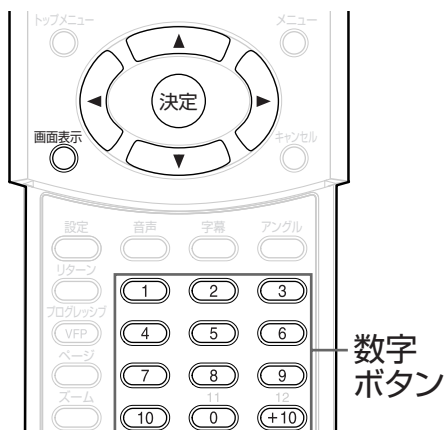
(ページ) を押すごとに、静止画が切り換わります。
- (▲)(▼) でも選べます。

例：

テレビ画面

2 そのまま数秒間待つか、(決定) を押す

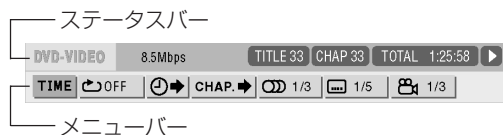
使いこなす

メニューバーで操作する

DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD SVCD オーディオCD

お知らせ

- 数字ボタンを使うときはTV/オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてください。
- ディスクが入っているときに操作できます。なお、停止中には操作できない機能もあります。

1 画面表示 を2回押す

本体の表示窓に「ONSCREEN」と表示され、テレビ画面にはステータスバーとメニューバーが表示されます。

上記はDVDビデオの例です。

2 ◀ ▶ を押して、操作したい項目を選ぶ

3 決定 を押す

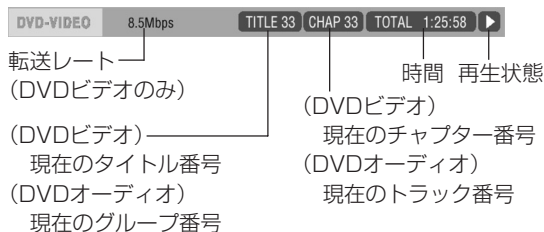
- 選んだ機能が設定できるようになります。設定内容については次の「機能一覧」をご覧ください。
- メニューバーの文字が青いときは、その機能が働いています。
- メニューバーを消したいときは 画面表示 を押します。

機能一覧

特に操作説明のない機能については、▲ ▼ で選択、決定 で決定します。

機能	説明
TIME 時間表示選択	本体の表示窓とステータスバーに表示される時間情報のモードの選択。決定を押すごとにモードが切り換わる。 **DVDビデオ/DVDオーディオ(再生中に操作)** TOTAL:タイトル/グループの経過時間 T.REM:タイトル/グループの残り時間 TIME:チャプター/トラックの経過時間 REM:チャプター/トラックの残り時間 **オーディオCD(再生中に操作)/ビデオCD/SVCD** TIME:トラックの経過時間 REM:トラックの残り時間 TOTAL:ディスクの先頭からの経過時間 T.REM:ディスクの残り時間
リピートモード	24ページ参照。
タイムサーチ	21ページ参照。
CHAP./TRACK チャプターサーチ(DVDビデオ)/トラックサーチ(DVDオーディオ)	チャプター/トラックを選ぶ。数字ボタンを押してチャプター/トラック番号を入力し、決定を押す。 例: 5: 5　24: 2 → 4
音声言語/音声(DVDビデオ/DVDオーディオ/ビデオCD/SVCD)	26ページ参照。
字幕言語(DVDビデオ/SVCD)	26ページ参照。
1/3 アングル(DVDビデオ/DVDオーディオ)	26ページ参照。
PAGE -/- ページ切り換え(DVDオーディオ)	DVDオーディオのディスクに収録されている静止画(B.S.P.)を切り換える(29ページ参照)。

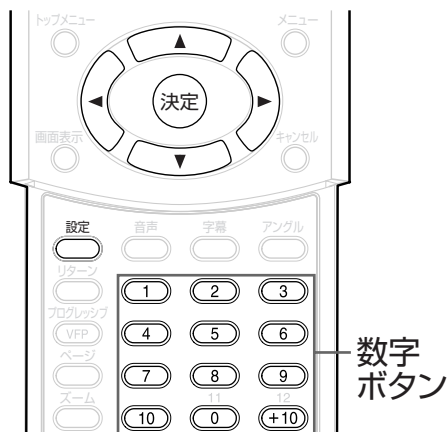
ステータスバーに表示される情報

DVDビデオ/DVDオーディオ(下はDVDビデオの例)

ビデオCD/SVCD/オーディオCD(下はオーディオCDの例)

お知らせ

再生状態のマークは、オンスクリーンガイド(☞ 17ページ)のマークと同じ意味です。

各種設定

DVDビデオ　DVDオーディオ　ビデオCD　SVCD　オーディオCD　MP3　JPEG

お買い上げ時の本機の設定を、お使いの環境に合わせて変更することができます。

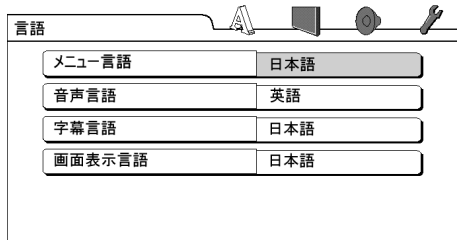
お知らせ

- 数字ボタンを使うときはTV/オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてください。
- ワイドテレビでは各種設定画面の上下が表示されないことがあります。テレビ側の設定で画像サイズを変更してください。

基本操作

ここでは各種設定を変更する基本操作について説明します。

1 停止中またはディスクが入っていないとき(「NO DISC」表示中)に、設定を押す

- 本体表示窓に「SETTING」と表示され、テレビ画面には次のように表示されます。

- このあとはテレビ画面の説明にしたがって操作してください。

言語設定画面

お知らせ

- 選んだ言語がディスクに収録されていないときは、そのディスクの最適な設定の言語で表示されます。
- “AA”などの言語コードについては、「言語コード一覧」(☞ 43ページ)をご覧ください。

設定項目	設定内容
メニュー言語	**DVDビデオのメニューの言語を選びます。**
音声言語	**DVDビデオの音声の言語を選びます。**
字幕言語	**DVDビデオの字幕の言語を選びます。**
画面表示言語	**設定画面に表示される言語を選びます。**

映像設定画面

設定項目	設定内容（　　がお買い上げ時の設定です）
TVタイプ	**お使いのテレビに適した表示方法を選びます。** **16:9ノーマル:** 画面サイズが16:9に固定されているワイドテレビと接続したとき、この設定にします。(4:3で収録されたDVDビデオを再生するとき、本機が出力信号の画面幅を自動調節します) **16:9オート:** 普通のワイドテレビと接続したとき、この設定にします。 **レターボックス:** 従来(4:3)のテレビ用。横長の映像は上下に黒い隙間が表示されます。 **パンスキャン:** 従来(4:3)のテレビ用。横長の映像は左右が切り取られます(ディスクがパンスキャン非対応のときはレターボックス表示となります)。
スクリーンセーバー	**スクリーンセーバーの オン / オフを選びます。(スクリーンセーバーは、静止画が表示されてから約5分操作がないときに動作します)**
MP3/JPEG	**1枚のディスクに MP3 と JPEG の両ファイルが含まれているとき、どちらを再生するか選びます。設定を変えたときは、トレイを開け / 閉めするか、電源を入れ直してください。(MP3 または JPEG のいずれか一方のみが記録されたディスクはこの設定に関わらず再生できます)**

次ページへつづく

音声設定画面

設定項目	設定内容（　　がお買い上げ時の設定です）
デジタルOUT	**デジタル音声出力端子に接続する機器（AVアンプなど）に合わせて出力信号の種類を次から選べます（設定項目と出力信号については下の一覧表をご覧ください）。** **PCMのみ:** リニアPCMのみに対応している機器。 **DOLBY DIGITAL/PCM:** ドルビーデジタルデコーダーまたは同機能を持つ機器。 **ストリーム/PCM:** DTS/ドルビーデジタルデコーダーまたはこれらの機能を持つ機器。
ダウンミックス	**接続した機器に合わせて、DVDビデオのデジタル出力端子からの信号を切り換えます。「デジタルOUT」を「PCMのみ」にしているとき設定します。** **ドルビーサラウンド:** ドルビープロロジックデコーダ内蔵の機器。 **ステレオ:** 通常の機器。 • バーチャルサラウンドがオンのときは、ダウンミックスは働きません。
D(ダイナミック)レンジコントロール	**小音量で再生したとき、大きな音と小さな音の聞こえ方の差を補正します。（ドルビーデジタルで収録されたDVDのみ）** **オート:** Dレンジコントロールが自動的に働く。 **オン:** Dレンジコントロールが常に働く。

その他設定画面

設定項目	設定内容（　　がお買い上げ時の設定です）
リジューム	**オン／オフを選ぶ。(☞20ページ)**
オンスクリーンガイド	**ディスクや本機の状態を示すマークを表示するオンスクリーンガイドのオン/オフを選びます（マークについては17ページをご覧ください）。**
AVコンピュリンクモード	**弊社のテレビやAVアンプと連動させるとき、接続機器の端子に合わせて次から選びます（詳しくは「AVコンピュリンクの活用」(☞38ページ)をご覧ください）。** **DVD1:** テレビのビデオ3入力またはAVアンプのDVD入力に接続。 **DVD2:** テレビのビデオ1入力に接続。 **DVD3:** テレビのビデオ2入力に接続。
視聴制限	**DVDビデオの過激なシーンをカットしたり、他のシーンに差し替えたりする視聴制限を設定します。（視聴制限に対応しているディスクのみ）** **カントリーコード(☞33ページ)** 通常は「JP」を選びます。 **セットレベル:** 数値が小さいほど制限が厳しい。「なし」は制限なし。 **パスワード（必須）:** 数字ボタン（1～9, 0）で、4桁のパスワードを毎回必ず設定します（パスワードを忘れたときは「8888」を入力してください）。 このパスワードは再生時にも入力する必要があります。 • パスワードを3回間違えると、自動的に[EXIT]が選ばれます。

デジタルOUTの設定項目と出力信号の関係一覧

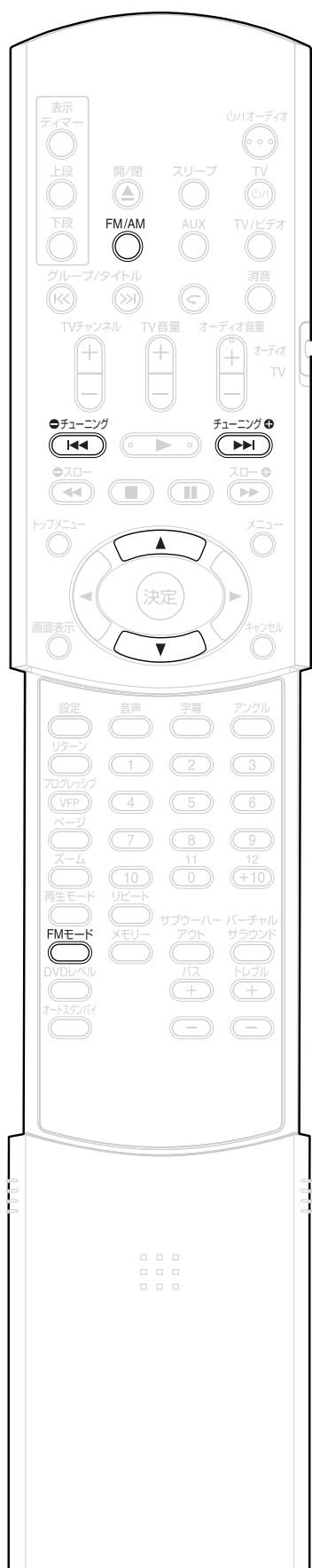
再生ディスク	「デジタルOUT」設定		
	ストリーム/PCM	DOLBY DIGITAL/PCM	PCMのみ
48kHz、16/20/24ビットリニアPCMのDVDビデオ 96kHz リニアPCMのDVDビデオ	48kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
48/96/192kHz、16/20/24ビットリニアPCMのDVDオーディオ	48kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
44.1/88.2/176.4kHz、16/20/24ビットリニアPCMのDVDオーディオ	44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
DTSのDVDビデオ	DTSビットストリーム	48kHz、16ビットのリニアPCM	
ドルビーデジタルのDVDビデオ・DVDオーディオ	ドルビーデジタルビットストリーム		48kHz、16ビットステレオのリニアPCM
オーディオCD・ビデオCD・SVCD	44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM/48kHz、16ビットのリニアPCM		
DTSのオーディオCD	DTSビットストリーム	44.1kHz、16ビットのリニアPCM	
MP3のディスク	出力しない		

お知らせ

デジタル音声出力端子について著作権保護の設定がされていないDVDビデオでは、20ビットまたは24ビットで出力されるものがあります。

カントリーコード一覧

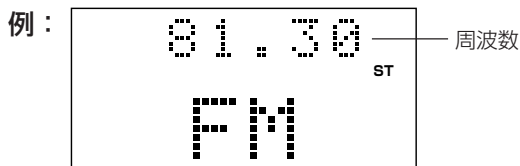
Code	Country
AD	Andorra
AE	United Arab Emirates
AF	Afghanistan
AG	Antigua and Barbuda
AI	Anguilla
AL	Albania
AM	Armenia
AN	Netherlands Antilles
AO	Angola
AQ	Antarctica
AR	Argentina
AS	American Samoa
AT	Austria
AU	Australia
AW	Aruba
AZ	Azerbaijan
BA	Bosnia and Herzegovina
BB	Barbados
BD	Bangladesh
BE	Belgium
BF	Burkina Faso
BG	Bulgaria
BH	Bahrain
BI	Burundi
BJ	Benin
BM	Bermuda
BN	Brunei Darussalam
BO	Bolivia
BR	Brazil
BS	Bahamas
BT	Bhutan
BV	Bouvet Island
BW	Botswana
BY	Belarus
BZ	Belize
CA	Canada
CC	Cocos (Keeling) Islands
CF	Central African Republic
CG	Congo
CH	Switzerland
CI	Côte d'Ivoire
CK	Cook Islands
CL	Chile
CM	Cameroon
CN	China
CO	Colombia
CR	Costa Rica
CU	Cuba
CV	Cape Verde
CX	Christmas Island
CY	Cyprus
CZ	Czech Republic
DE	Germany
DJ	Djibouti
DK	Denmark
DM	Dominica
DO	Dominican Republic
DZ	Algeria
EC	Ecuador
EE	Estonia
EG	Egypt
EH	Western Sahara
ER	Eritrea
ES	Spain
ET	Ethiopia
FI	Finland
FJ	Fiji
FK	Falkland Islands (Malvinas)
FM	Micronesia (Fedelated States of)
FO	Faroe Islands
FR	France
FX	France, Metropolitan
GA	Gabon
GB	United Kingdom
GD	Grenada
GE	Georgia
GF	French Guiana
GH	Ghana
GI	Gibraltar
GL	Greenland
GM	Gambia
GN	Guinea
GP	Guadeloupe
GQ	Equatorial Guinea
GR	Greece
GS	South Georgia and the South Sandwich Islands
GT	Guatemala
GU	Guam
GW	Guinea-Bissau
GY	Guyana
HK	Hong Kong
HM	Heard Island and McDonald Islands
HN	Honduras
HR	Croatia
HT	Haiti
HU	Hungary
ID	Indonesia
IE	Ireland
IL	Israel
IN	India
IO	British Indian Ocean Territory
IQ	Iraq
IR	Iran (Islamic Republic of)
IS	Iceland
IT	Italy
JM	Jamaica
JO	Jordan
JP	**Japan**
KE	Kenya
KG	Kyrgyzstan
KH	Cambodia
KI	Kiribati
KM	Comoros
KN	Saint Kitts and Nevis
KP	Korea, Democratic People's Republic of
KR	Korea, Republic of
KW	Kuwait
KY	Cayman Islands
KZ	Kazakhstan
LA	Lao People's Democratic Republic
LB	Lebanon
LC	Saint Lucia
LI	Liechtenstein
LK	Sri Lanka
LR	Liberia
LS	Lesotho
LT	Lithuania
LU	Luxembourg
LV	Latvia
LY	Libyan Arab Jamahiriya
MA	Morocco
MC	Monaco
MD	Moldova, Republic of
MG	Madagascar
MH	Marshall Islands
ML	Mali
MM	Myanmar
MN	Mongolia
MO	Macau
MP	Northern Mariana Islands
MQ	Martinique
MR	Mauritania
MS	Montserrat
MT	Malta
MU	Mauritius
MV	Maldives
MW	Malawi
MX	Mexico
MY	Malaysia
MZ	Mozambique
NA	Namibia
NC	New Caledonia
NE	Niger
NF	Norfolk Island
NG	Nigeria
NI	Nicaragua
NL	Netherlands
NO	Norway
NP	Nepal
NR	Nauru
NU	Niue
NZ	New Zealand
OM	Oman
PA	Panama
PE	Peru
PF	French Polynesia
PG	Papua New Guinea
PH	Philippines
PK	Pakistan
PL	Poland
PM	Saint Pierre and Miquelon
PN	Pitcairn
PR	Puerto Rico
PT	Portugal
PW	Palau
PY	Paraguay
QA	Qatar
RE	Réunion
RO	Romania
RU	Russian Federation
RW	Rwanda
SA	Saudi Arabia
SB	Solomon Islands
SC	Seychelles
SD	Sudan
SE	Sweden
SG	Singapore
SH	Saint Helena
SI	Slovenia
SJ	Svalbard and Jan Mayen
SK	Slovakia
SL	Sierra Leone
SM	San Marino
SN	Senegal
SO	Somalia
SR	Suriname
ST	Sao Tome and Principe
SV	El Salvador
SY	Syrian Arab Republic
SZ	Swaziland
TC	Turks and Caicos Islands
TD	Chad
TF	French Southern Territories
TG	Togo
TH	Thailand
TJ	Tajikistan
TK	Tokelau
TM	Turkmenistan
TN	Tunisia
TO	Tonga
TP	East Timor
TR	Turkey
TT	Trinidad and Tobago
TV	Tuvalu
TW	Taiwan, Province of China
TZ	Tanzania, United Republic of
UA	Ukraine
UG	Uganda
UM	United States Minor Outlying Islands
US	United States
UY	Uruguay
UZ	Uzbekistan
VA	Vatican City State (Holy See)
VC	Saint Vincent and the Grenadines
VE	Venezuela
VG	Virgin Islands (British)
VI	Virgin Islands (U.S.)
VN	Viet Nam
VU	Vanuatu
WF	Wallis and Futuna Islands
WS	Samoa
YE	Yemen
YT	Mayotte
YU	Yugoslavia
ZA	South Africa
ZM	Zambia
ZR	Zaire
ZW	Zimbabwe

ラジオを聞く

FMまたはAMを受信することができます。

放送局を選ぶ

1 FM/AM ◯ を押す

押すごとにFMとAMが切り換わります。

例：

2 ⊖チューニング ⏮ または チューニング⊕ ⏭ を押して、聞きたい放送局(周波数)を選ぶ

2つの方法があります。

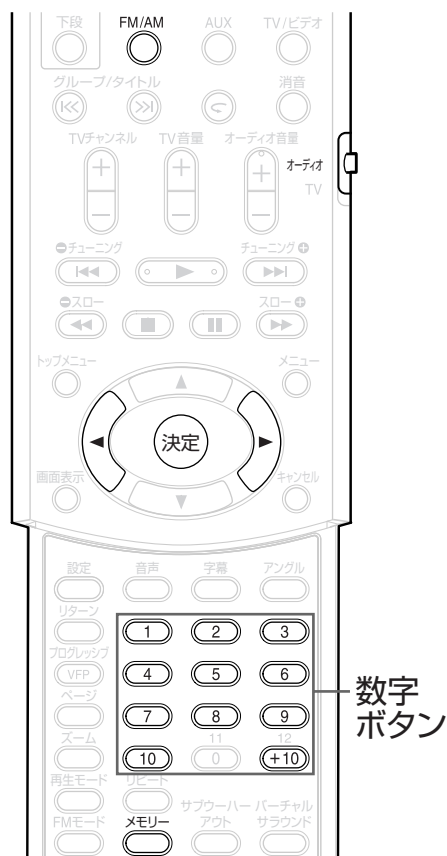
オート(自動)選局:
⊖チューニング ⏮ または チューニング⊕ ⏭ を押し続け、周波数の表示が変わり始めたらボタンを離します。
放送を受信すると自動で止まります。
途中で止めたいときは、⊖チューニング ⏮ または チューニング⊕ ⏭ を押します。

マニュアル(手動)選局:
⊖チューニング ⏮ または チューニング⊕ ⏭ を押すごとに周波数が変わります。

- FMステレオ放送を受信すると、「**ST**」(STEREO)表示が点灯します。
- ▲ ▼ でも選局できます。

お知らせ

- 本機は、テレビ1ch:95.75 MHz、2ch:101.75 MHz、3ch:107.75 MHzの音声を受信することができます。
- FMステレオ放送が雑音で聞きにくいとき、FMモード ⬭ を押し、音声をモノラルにする(「**MONO**」が点灯)と、聞きやすくなることがあります。もう一度 FMモード ⬭ を押すか、別の放送局を受信すると自動的にステレオ受信に戻ります。
- 本機はAMステレオ放送には対応していません。

あらかじめ記憶させた放送局を呼び出す

放送局を記憶させておくと、次からは簡単に呼び出すことができます。

お知らせ

数字ボタンを使うときはTV/オーディオ切換スイッチを「オーディオ」側にしてください。 オーディオ TV

放送局を記憶させる［メモリー］

FMを最大30局、AMを最大15局まで、それぞれ記憶させることができます。

オート(自動)メモリー

FMとAMそれぞれについて操作してください。

1 FM/AM **をくり返し押してFMまたはAMを選ぶ**

2 メモリー **を2秒以上押して表示窓に「A.MEMORY」を表示させる**

- 受信できる放送局が自動で記憶され、その局のメモリー番号と受信周波数が表示されます。
- 受信できるすべての放送局が記憶されるか、メモリーの最大数まで記憶されると、自動で終了します。
- 雑音の多い放送局も記憶されることがあります。
- 前に記憶されていた放送局があっても、新しく記憶された放送局が上書きされます。

オートメモリーが終了すると、メモリー番号01に記憶された放送局が自動で受信されます。

マニュアル(手動)メモリー

放送局を1つずつ記憶させます。

1 記憶させたい放送局を選ぶ
(選びかたは☞ 34ページ)

2 メモリー **を押す**

表示窓に、数字(メモリー番号)が約5秒間点滅します。

3 メモリー番号が点滅している間に、◀ または ▶ を押して記憶させたい番号を選ぶ

- 数字ボタンで選ぶこともできます。
- 「数字ボタンの使い方」(☞17ページ)をご覧ください。

4 選んだ番号が点滅している間に メモリー **または** 決定 **を押す**

「SET」と表示され、選んだ放送局が記憶されます。

お知らせ

同じメモリー番号に新しい放送局を記憶させると、前の放送局の記憶は消えます。

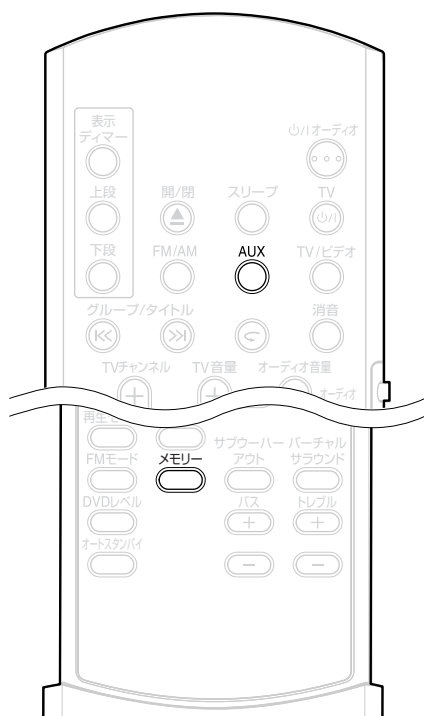
放送局を呼び出す

1 FM/AM **をくり返し押してFMまたはAMを選ぶ**

2 数字ボタンで、呼び出したい放送局のメモリー番号を選ぶ

「数字ボタンの使い方」(☞17ページ)をご覧ください。

でも選べます。

他のオーディオ機器の音声を楽しむ

あらかじめ本機と他のオーディオ機器をつないでおいてください。(☞ 12ページ)。

1 AUX を押す

ソース(音源)がAUXになります。

2 他のオーディオ機器を再生する

詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

3 本機の音量・音質を調節する(☞17ページ)

オーディオ機器の音声入力レベルを調節する

AUX端子に接続した他の機器の音声入力レベルを調節することができます。

1 AUX を押す

ソース(音源)がAUXになります。

2 入力レベルが表示されるまで メモリー を押しつづける

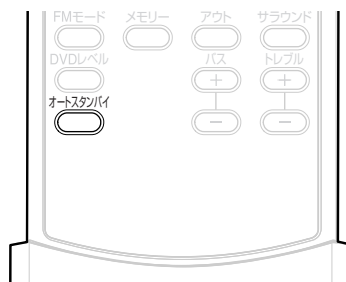
押しつづけるごとに次のように切り換わります。

LEVEL1： 通常はこちらでお使いください。

LEVEL2： 他の機器からの入力レベルが大きすぎて音声がひずんで聞こえるときに、こちらに設定します。

お買い上げ時はLEVEL1に設定されています。

オートスタンバイを設定する

DVD ビデオ | DVD オーディオ | ビデオ CD | SVCD | オーディオ CD | MP3 | JPEG

停止状態で3分間何も操作しないと、自動で電源が「切」になります。

1 ディスクを再生中または停止中またはディスクが入っていないとき(「NO DISC」表示中)に オートスタンバイ を押す

「A.STANDBY」が本体表示窓に点灯します。

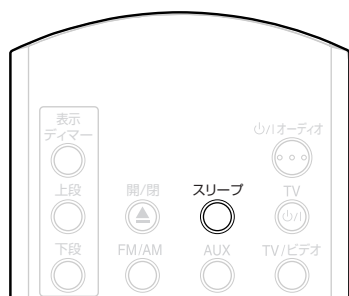
再生などの動作が終了して停止状態になると、「A.STANDBY」が点滅に変わります。
これは「何も操作しない場合は3分後に電源が切れます。」という意味です。
さらに電源が「切」になる20秒前になると、「POWER OFF」が点滅します。

オートスタンバイを解除する

オートスタンバイ を押します。
「A.STANDBY」が消灯します。

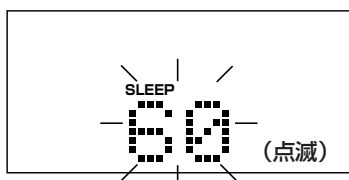
お知らせ

ソース(音源)がラジオ(FM/AM)またはAUXのときは、オートスタンバイは動作しません。

スリープタイマー（おやすみタイマー）

設定した時間（スリープ時間）が経過すると自動で電源が「**切**」になります。

スリープ ◯ を押す

押すごとに、本体表示窓に表示された時間（単位：分）が切り換ります。

例：スリープ時間を60分にしたとき

数秒後にスリープ時間が自動で設定され、表示が消えます。

お知らせ

スリープタイマーを設定すると自動で表示窓が暗くなります。

スリープ時間を変更する

スリープ ◯ をくり返し押してスリープ時間を選び直してください。

スリープ時間を確認する

スリープタイマーが設定された状態で、スリープ ◯ を1回押します。

解除する

「OFF」が表示されるまで、スリープ ◯ をくり返し押します。

お知らせ

電源を「**切**」にしたときも、スリープタイマーは解除されます。

チャイルドロック

本機に入れたディスクが取り出せないようにロックすることができます。

設定する

本機の電源を切り（スタンバイ状態）、本体の ◯（停止）を押しながら ⏏（取出し）を押します。
本体表示窓に「LOCKED」と表示されます。

解除する

設定時と同じ操作をしてください。
本体表示窓に「UNLOCKED」と表示されます。

便利な機能

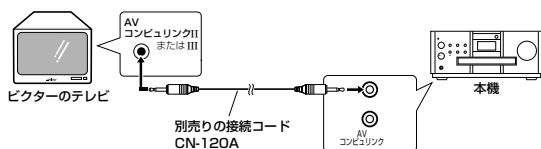
AVコンピュリンクの活用

接続するテレビまたは機器がビクター製で、AVコンピュリンクⅡまたはⅢ端子があるときは、別売りの接続コード(CN-120A)で本機のAVコンピュリンク端子とつなぐと、一つの機器の操作に連動してほかの機器を動作させることができます。

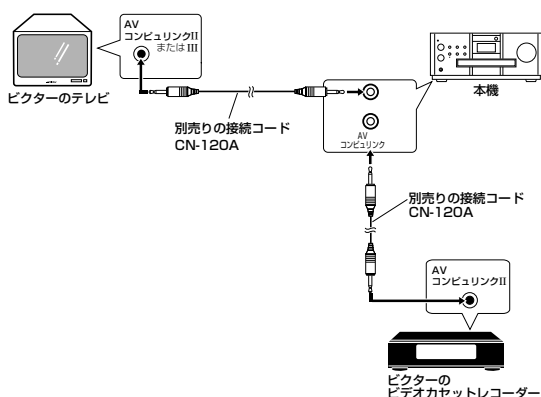
接続と設定

お知らせ

- 接続する機器によっては端子名が「AV COMPU LINK端子」と表記されているものもありますが、同様の端子です。
- AVコンピュリンクモードの設定は、「その他設定画面」(☞ 32ページ)で操作します。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

テレビとのAVコンピュリンク接続

テレビの入力端子	AVコンピュリンクモードの設定
ビデオ3のとき	DVD 1

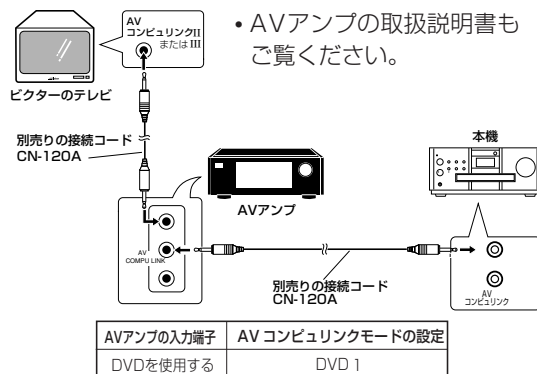
- テレビのビデオ3(DVD)入力に接続してください。ただし、ビデオ3がDV／ムービー入力のときは、下の説明をお読みください。

テレビおよびビデオカセットレコーダーとのAVコンピュリンク接続

テレビの入力端子	AVコンピュリンクモードの設定	ビデオカセットレコーダーのリモコンコードの設定
ビデオ1のとき	DVD 2	B
ビデオ2のとき	DVD 3	A

- お買い上げ時の設定で使用する場合は、ビデオ3に接続してください。(DV／ムービー入力でないとき)。リモコンコードの設定は「A」にします。

テレビおよびAVアンプとのAVコンピュリンク接続

- AVアンプの取扱説明書もご覧ください。

AVアンプの入力端子	AV コンピュリンクモードの設定
DVDを使用する	DVD 1

ご注意

- DVD以外の音声入力端子に、DVDの音声出力を接続すると正しく動作しません。
- D映像出力をテレビにつなぐときは、本機のAVコンピュリンクモードの設定を「DVD1」にしてください。また、AVアンプのSビデオ端子とは接続しないでください。

操作方法

1 テレビの主電源スイッチを入れる

2 ソース機器(本機やビデオカセットレコーダーなど)にディスク、またはビデオテープを入れる

3 ソース機器の再生ボタンを押す

- テレビの電源が入ります。
- テレビの入力切換が、再生機器を接続している外部入力(ビデオ1、ビデオ2またはビデオ3)になります。
- AVアンプの電源が入ります。
- AVアンプのソース切換が、再生ボタンを押した機器に切り換わります。

使用上のご注意

本機の置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。

- 湿気やほこりの多い所
- バランスの悪い不安定な所
- 熱器具の近く
- 寒い所から急に暖かい部屋へ移動した後しばらくの間
- けい光灯のすぐそば
- 風通しの悪い狭い場所
- 直射日光の当たる所
- 極端に寒い所
- 振動の激しい所

ご注意

本機の使用環境温度は、5℃ ～ 35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

露、水滴がついたら

次のようなとき、本機内部のレンズに露、水滴が付いて正しく再生できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を「入」にしたまま約1～2時間待ってから、ご使用ください。

本体の掃除

パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからからぶきしてください。

ご注意

シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

ステレオを聞くときのエチケット

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

■ ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。
特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

ディスクについて

再生できるディスク

次のディスクが再生できます。

DVDビデオ	DVDオーディオ	ビデオCD/スーパービデオCD	オーディオCD
DVD VIDEO	DVD AUDIO	Video CD COMPACT disc DIGITAL VIDEO / COMPACT disc SUPER VIDEO	COMPACT disc DIGITAL AUDIO

次のディスクも再生できます。
- DVDビデオフォーマットで記録し、ファイナライズ処理されたDVD-R/RWディスク
- 次のフォーマットで記録されたCD-R/RWディスク
  - 音楽CD（ファイナライズ処理されたディスク）
  - ビデオCD　• スーパービデオCD
  - ISO9660で記録されたMP3/JPEGディスク（詳しくは「MP3/JPEGディスクについて」をご覧ください）

ご注意
- ディスクの、傷、汚れ、反り、記録状態、記録条件が原因で再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。

次のディスクは音声のみ再生できます。
- MIX-MODE CD　• CD-G
- CD-EXTRA　• CD TEXT

本機のリージョン番号は「2」です。「2（2を含む）」または「ALL」と表示されたDVDビデオのディスクに限り再生できます。

リージョン番号とは：
国や地域ごとに割り当てられた番号です。

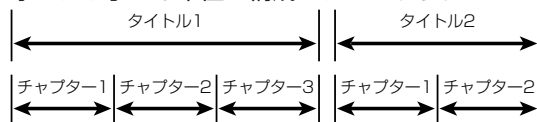
再生できないディスク

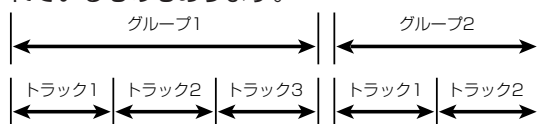
次のディスクは再生できません。誤って再生するとスピーカーなどの機器を破損することがあります。
- VRフォーマットで記録されたDVD-RW
- DVD-ROM　• DVD-RAM　• CD-ROM
- PHOTO CD　• SACD

破損したディスク、特殊な形状（直径12または8センチの円形以外）のディスクも再生できません。

- 本機ではCD規格（CD-DA）に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CDを再生する際には、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

DVDビデオディスクの構成

一般的なDVDビデオは、「タイトル」と呼ばれる大きな単位と、タイトルに含まれる「チャプター（章）」と呼ばれる小さな単位で構成されています。

DVDオーディオディスクの構成

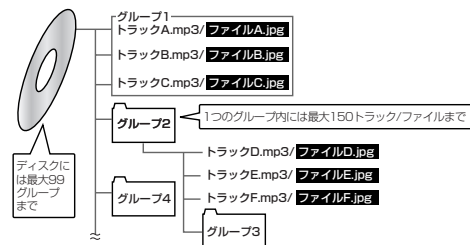
DVDオーディオは、「グループ」と呼ばれる大きな単位と、グループに含まれる「トラック」と呼ばれる小さな単位で構成されています。再生時に暗証番号が必要な「ボーナスグループ」（☞29ページ）が収録されているものもあります。

MP3/JPEGディスクについて

再生できるMP3/JPEGディスクおよびファイル

- ISO9660フォーマットで記録されているディスク（パケットライト（UDFフォーマット）形式で記録されたディスクは不可）。
- マルチセッションで記録されたディスクも再生可能。
- 「.mp3」、「.jpg」または「.jpeg」の拡張子がついたファイル（大文字小文字が混在した拡張子も可）。

MP3/JPEGディスクの構成

本書（本機）では、ＭＰ３ファイルを「トラック」、JPEGファイルを「ファイル」と呼びます。トラックやファイルのまとまりを「グループ」と呼びます。

お知らせ
- 空のグループは認識されません。
- グループに入っていないトラック（ファイル）はグループ1のトラック（ファイル）として扱われます。
- 本機は、1枚のディスク内に最大99のグループ、各グループ内に最大150のトラック/ファイルを認識できます。これらを超えるものは認識できず、再生できません。またグループ（フォルダ）内にMP3/JPEG以外のファイルが含まれるとき、認識できるファイル数が150に満たないことがあります。

MP3/JPEGディスクやファイルについて知っておいて欲しいこと

- ディスクの記録状態や特性により再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。
- ディスクに記録されているグループやトラック(ファイル)の数によって、読み取り時間が異なります。
- MP3/JPEGファイルのファイル名に半角英数字以外の文字が使われていると、テレビ画面にトラック/ファイル名が正しく表示されません。
- MP3コントロール画面に表示されるトラック/グループの順序、およびJPEGコントロール画面に表示されるファイル/グループの順序は、パソコンの画面に表示されるファイル/フォルダの順序と異なることがあります。
- MP3ディスクでは、グループ/トラックをアルファベット順に再生するため、市販のMP3ディスクを再生した場合、ディスクに記載されている順番とは異なって再生されることがあります。
- 静止画データの入ったMP3ファイルは再生に時間がかかることがあります。再生が始まるまで経過時間は表示されません。また、再生が始まっても正確な経過時間が表示されないことがあります。
- MP3ファイルのID3タグには対応していません。
- MP3ファイルは、サンプリング周波数44.1kHz、転送レート128kbpsで作成されたディスクを推奨します。
- 本機ではベースライン方式のJPEGファイルが再生できます。モノクロのJPEGファイルは再生できません。
- 本機ではDCF(Design rule for Camera File system)規格準拠のデジタルカメラで撮影したJPEGデータが表示できます。(デジタルカメラの自動回転機能などを使用した場合、DCF規格にあてはまらないデータとなり、画像が表示されないことがあります)
- パソコンの画像編集ソフトなどで加工、編集、再保存したデータは表示できないことがあります。
- MOTION JPEGなどの動画やJPEG以外の静止画(TIFFなど)および音声付き画像は再生できません。
- JPEGファイルの解像度は「640×480」をお勧めします。それ以上の解像度では表示に時間がかかることがあります。また、水平解像度が2400ピクセルを超える画像は表示できません。

マルチチャンネル音声について

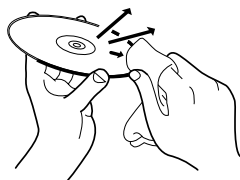
本機はマルチチャンネル音声をダウンミックスして本機の2つのスピーカーまたはヘッドホンで再生します。

- マルチチャンネル音声を再生しているとき、本機のバーチャルサラウンド機能を使うと、本機のスピーカーだけで迫力のあるサラウンドをお楽しみいただけます。☞28ページ

テレビ方式について

本機は日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSCに適合しています。NTSC以外のテレビ方式(PAL等)用のDVD/ビデオCDも、NTSC方式に変換して再生できます。(ただし、ディスクによっては映像がコマ送りになり、画面の縦横の比率が変わるなど、正しく再生されないことがあります)

ディスクのクリーニング

- ディスクの信号面についた指紋やほこりは、柔らかい乾いた布で中心から外側に向かって軽く拭いてください。ディスクの円周方向には拭かないでください。

- アナログレコード用のクリーナーやシンナーなどの溶剤は使わないでください。

- DVDビデオ/DVDオーディオ、SVCD、およびビデオCDは、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機は、ソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生しますので、操作した通りに機能が働かないことがあります。
- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。
  CDを再生する際には、「CD ロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

別売りのオプション品

• オーディオコード	: CN-510E CN-D110E
• 光デジタルケーブル	: XN-110SA
• S ビデオコード	: VC-S110E
• コンポーネントビデオコード	: VX-DS110
• AV コンピュリンク用コード	: CN-120A
• DVD レンズクリーナー	: CL-DVDL

別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。

故障かな?と思う前に

故障かな?と思ったら、修理を依頼する前に以下の点検をしてください。

電源について

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けている。
  ⇒ 電源プラグをコンセントにしっかり差し込む。☞ 13ページ

操作について

各ボタンの操作ができない

- ディスクによっては、特定の操作が禁止されていることがあります。

リモコンが働かない

- 乾電池が消耗している。
  ⇒ 乾電池を交換してください。☞ 8ページ

再生できない

- DVDビデオの場合、ディスクのリージョン番号が「2(2を含む)」または「ALL」以外のディスクは再生できません。
- 表示窓に「PLAYABLE Err」と表示された。
  本機で再生できるディスクではありません。
  ⇒ ディスクを確認する。☞ 40ページ
- 視聴制限が設定されている。☞ 32ページ

映像について

映像が出ない

- ビデオコードが正しく接続されていない。
  ⇒ ☞ 13ページ
- D映像端子とS映像端子を両方同時につないでいる。
  ⇒ どちらか片方だけにする。☞ 13ページ

映像が乱れる

- 本機とテレビの間に、ビデオデッキを接続している。
  ⇒ 本機とテレビを直接接続する。☞ 13ページ
- プログレッシブ非対応のテレビに接続しているとき、DVDのスキャンモードを「プログレッシブ」にしている。
  ⇒ スキャンモードを「インターレース」に設定する。☞ 28ページ

画面サイズがおかしい

- 画面サイズの設定が間違っている。
  ⇒ [TVタイプ]を、お使いのテレビに合わせる。
  ☞ 31ページ

テレビ画面が暗くなる

- [スクリーンセーバー]が設定されている。
  ⇒ 設定されているときは、いずれかの操作ボタンを押す。☞ 31ページ

画面が切り換わらない

- プログレッシブモードでお楽しみいただけるのはD2映像出力のみです。

音声について

音声が出ない

- スピーカーコードが正しく接続されていない。
  ⇒ ☞ 11ページ
- 消音機能が働いている。
  ⇒ ☞ 17ページ
- 表示窓に「NO AUDIO」と表示された。
  不法なコピーディスクの可能性があります。
  ⇒ ディスクをお買い上げになった店で確認してください。

テレビやビデオにくらべて音が小さい

- [DVDレベル]の設定が「NOR」になっている。
  ⇒ 「NOR」以外にする。☞ 28ページ

音がひずむ

- 音量を上げすぎている。
  ⇒ 音量を下げる。☞ 17ページ

サブウーハーから音が出ない

- SUB WFR OFFになっている。
  ⇒ [サブウーハー アウト] を押してSUB WFR ONにする。
  ☞ 12ページ

ラジオについて

受信中に雑音が入る/受信できない

- アンテナが正しく接続されていない。
  ⇒ アンテナを正しく接続する。☞ 10ページ

その他

音声／字幕言語の切り換えができない

- ディスクに複数の言語が収録されていない。
  ⇒ 複数の言語が収録されていないディスクでは切り換えができません。☞ 26ページ

字幕が出ない

- ディスクに字幕が入っていない。
  ⇒ 字幕の入っていないDVDビデオでは表示されません。
- 各種設定で字幕言語が「オフ」になっている。
  ⇒ 言語を選ぶ。☞ 31ページ
- A-BリピートのAポイント、Bポイントの前後では字幕が表示されないことがあります。

ディスクが取り出せない

- チャイルドロックが設定されている。
  ⇒ ☞ 37ページ

表示窓に「TRAY Err」と表示された

- トレイが障害物などで正しく開いていない。
  ⇒ トレイを閉じて、障害物を取り除いてください。

表示窓に「LR ONLY」と表示された（DVDオーディオのとき）

- マルチチャンネル音声で、ダウンミックスが禁止されているトラックを再生しているため、L、Rの音声がそのまま出力されています（正常な動作です）。

上記の処置をしても正しく動作しないときは

本機はマイコンの働きで多くの動作を行なっております。万一、どのボタンを押してもうまく動作しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、しばらく待ってからつなぎ直してください。

言語コード一覧

コード	言　語	コード	言　語
AA	アファル語	MI	マオリ語
AB	アブハジア語	MK	マケドニア語
AF	アフリカーンス語	ML	マラヤーラム語
AM	アムハラ語	MN	モンゴル語
AR	アラビア語	MO	モルダビア語
AS	アッサム語	MR	マラータ語
AY	アイマラ語	MS	マライ（マレー）語
AZ	アゼルバイジャン語	MT	マルタ語
BA	バシキール語	MY	ミャンマー語
BE	ベラルーシ語	NA	ナウル語
BG	ブルガリア語	NE	ネパール語
BH	ビハーリー語	NL	オランダ語
BI	ビスラマ語	NO	ノルウェー語
BN	ベンガル語、バングラ語	OC	プロバンス語
BO	チベット語	OM	（アフォン）オロモ語
BR	ブルトン語	OR	オリヤー語
CA	カタロニア語	PA	パンジャブ語
CO	コルシカ語	PL	ポーランド語
CS	チェコ語	PS	パシュトー語
CY	ウェールズ語	PT	ポルトガル語
DA	デンマーク語	QU	ケチュア語
DZ	ブータン語	RM	ラエティ-ロマン語
EL	ギリシャ語	RN	キルンディ語
EO	エスペラント語	RO	ルーマニア語
ET	エストニア語	RU	ロシア語
EU	バスク語	RW	キニャルワンダ語
FA	ペルシャ語	SA	サンスクリット語
FI	フィンランド語	SD	シンド語
FJ	フィジー語	SG	サンド語
FO	フェロー語	SH	セルボアクロアチア語
FY	フリジア語	SI	シンハラ語
GA	アイルランド語	SK	スロバキア語
GD	スコットランドゲール語	SL	スロベニア語
GL	ガルシア語	SM	サモア 語
GN	グアラニ語	SN	ショナ語
GU	グジャラード語	SO	ソマリ語
HA	ハウサ語	SQ	アルバニア語
HI	ヒンディー語	SR	セルビア語
HR	クロアチア語	SS	シスワティ語
HU	ハンガリー語	ST	セストゥ語
HY	アルメニア語	SU	スンダ語
IA	国際語	SV	スウェーデン語
IE	国際語	SW	スワヒリ語
IK	イヌピック語	TA	タミール語
IN	インドネシア語	TE	テルグ語
IS	アイスランド語	TG	タジク語
IW	ヘブライ語	TH	タイ語
JI	イディッシュ語	TI	ティグリニャ語
JW	ジャワ語	TK	トゥルクメン語
KA	グルジア語	TL	タガログ語
KK	カザフ語	TN	セツワナ語
KL	グリーンランド語	TO	トンガ語
KM	カンボジア 語	TR	トルコ語
KN	カンナダ語	TS	ツォンガ語
KO	韓国（朝鮮）語	TT	タタール語
KS	カシミール語	TW	トウィ語
KU	クルド語	UK	ウクライナ語
KY	キルギス語	UR	ウルドゥー語
LA	ラテン語	UZ	ウズベク語
LN	リンガラ語	VI	ベトナム語
LO	ラオス語	VO	ヴォラピュク語
LT	リトアニア語	WO	ウォロフ語
LV	ラトビア語、レット語	XH	コーサ語
MG	マダガスカル語	YO	ヨルバ語
		ZU	ズール語

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の
最低保有期間は、製造打切り後８年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**にご相談ください。
ご転居等で、保証書記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合には、「ビクターサービス窓口案内」（45〜46ページ）をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

出張修理

42〜43ページの**「故障かな？と思う前に」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクなどのメディアもご用意ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	コンパクトコンポーネントシステム
型　名	EX-A1
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　-

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品について、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

修　理　料　金　の　仕　組　み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

■この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

お願い

- 本機の故障、または不具合等によりディスクの再生などにおいて利用の機会を逸したため発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東五条1丁目2-29
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	085-0005	釧路市松浦町3番3号
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東6条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16 函館五稜郭MFビル1F
東北				
青森	青森S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	会津若松S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101
	福島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越S.S.	(025)545-1734	942-0081	上越市五智1-11-2
長野	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	前橋S.C.	(027)255-5921	371-8543	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場
栃木	宇都宮S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸S.C.	(029)246-1560	310-8528	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
	土浦S.S.	(029)821-8756	300-0813	土浦市富士崎1-10-1
山梨	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏S.C.	(04)7175-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	CSセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	331-0814	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
	横浜T.C.	(046)234-4500	243-0401	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8043	静岡市中田本町62-31中田ビル1F
	沼津S.S.	(055)922-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785

（つづき）
ビクターサービス窓口案内

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市桂曙3-10-12
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0028	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211
近畿				
滋賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.S.	(0744)24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺S.C.	(072)254-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
中国				
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(084)931-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	周南市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
島根	山陰ビクター販売(株) 松江S.C.	(0852)31-8900	690-0825	松江市学園1-16-39
鳥取	山陰ビクター販売(株) 鳥取S.S.	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1
四国				
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	781-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄				
福岡佐賀	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16

●略号について S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルサポートセンターです。

1003

・所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

索引

ご参考に

主な仕様

一般

電源：AC 100V（50Hz/60Hz）
消費電力：電源入時 35W/切（待機）時 0.8W
質量：3.0kg
外形寸法：（幅）232mm×（高さ）100mm×（奥行）269mm

DVDプレーヤー

再生可能ディスク：DVDビデオ、DVDオーディオ、ビデオCD、スーパービデオCD、オーディオCD、CD-R/RW（オーディオCD、ビデオCD、MP3、JPEGフォーマット）、DVD-R/RW（ビデオフォーマット）

ビデオ出力

映像出力×1：1.0V（p-p）/75Ω、同期負
S1/S2映像出力×1：Y出力…1.0V（p-p）/75Ω、同期負
C出力…0.286V（p-p）/75Ω
D2映像出力×1：Y出力…1.0V（p-p）/75Ω
P_B/P_R出力…0.7V（p-p）/75Ω
映像信号方式：JEITA標準、NTSCカラーテレビジョン方式

オーディオ出力

アナログ音声出力：
スピーカー×1系統
実用最大出力：30W+30W（JEITA/4Ω）
適合インピーダンス 4Ω～16Ω
ヘッドホン×1、11mW/32Ω
適合インピーダンス 16Ω～1kΩ
サブウーハー×1、500mVrms/10kΩ
デジタル音声出力（光角形ジャック×1）：
光…－21dBm～－15dBm

その他出力

AVコンピュリンク×2（φ3.5）

オーディオ入力

音声入力（AUX）AUX×1系統：
Level 1…250mV/50kΩ
Level 2…500mV/50kΩ

チューナー

FMチューナー：
受信周波数…76.00MHz～108.00MHz
アンテナ…75Ω不平衡型
AMチューナー：
受信周波数…531kHz～1629kHz
アンテナ…アンテナ外部端子（ループアンテナ）

スピーカー

種類	：1ウェイ　バスレフ型 防磁形（JEITA）
使用スピーカー	：8.5cm ウッドコーンスピーカー
定格入力（JIS）	：7.5W
最大入力（JIS）	：30W
定格インピーダンス	：4Ω
出力音圧レベル	：81dB/W・m
寸法	：横幅　120mm ：高さ　161mm ：奥行　239mm
質量	：1.6kg（1本）

• 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
• JEITAは、電子情報技術産業協会の規格による数値です。
• 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
45～46ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル **0120－2828－17** 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は ☎ (03) 5684-9311 FAX(03) 5684-9317 〒113-0033 東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
AV＆マルチメディアカンパニー
〒221-8528　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

1103SKMMODJSC